

2019(平成 31・令和元)年度 近畿地区公立中学校

修学旅行実施状況報告書

近畿地区公立中学校修学旅行委員会
公益財団法人全国修学旅行研究協会

目次

1. 実施状況について

(1) 旅行時期について	P 1
(2) 旅行日数について	〃
(3) 旅行実施方面について(月別)	P 2
(4) 旅行実施方面について(府県別)	〃
(5) 旅行実施曜日について	P 3
(6) 参加人員について	〃
(7) 旅行費用について(府県、行先別)	P 4
(8) 旅行費用について(集約列車・独自の対比)	P 5
(9) 旅行費用について(費用項目別対比)	〃
(10) 宿泊地について(府県、泊地別及び民泊利用)	P 6～P 11
(11) 宿泊利用機関について	P 12～P 14
(12) 宿泊施設の連泊について	P 15
(13) 利用旅行会社について	〃
(14) 不参加生徒について	P 16、17

2. 主要交通機関について

主要、利用交通機関について	P 18
---------------------	------

3. 旅行会社の選定について

旅行会社の選定について	P 19
-------------------	------

4. 今後の旅行先について

今後の旅行先について	P 20
------------------	------

5. 民泊について

(1) 民泊の利用状況と今後の利用予定について	P 21
(2) 今後民泊利用を取りやめる理由について	P 22

6. 修学旅行中の安全対策について

(1) 修学旅行を実施するにあたり旅行保険に加入していますか。	P 23～P 28
(2) 加入している保険の内容はどのようなものですか。	
(3) これまでに実際に保険の対象になったことはありますか。	
(4) 「ア：ある」と回答した学校にお尋ねします。具体的にどのような事象が対象となりましたか。	
(5) 「イ：ない」と回答した学校にお尋ねします。補償対象にならなかったものの、出来れば補償してもらいたかった事柄がありましたらお書きください。	
(6) 現在ある保険が補償対象としている項目以外にも、是非、補償対象にしてほしい事柄がありましたらお書きください。	
(7) 生徒の班またはグループ別行動中の安全確認のため、情報端末(携帯電話等を含む)を活用していますか。	
(7) - 2 「ア：活用した」と回答した学校にお尋ねします。その利用はどのようなものですか。	

7. 本年度修学旅行について他校に紹介したい活動や取組、関係機関への要望等

.....	P 29～P 34
-------	-----------

2019(平成31、令和元)年度 回答状況について

(単位:校数)

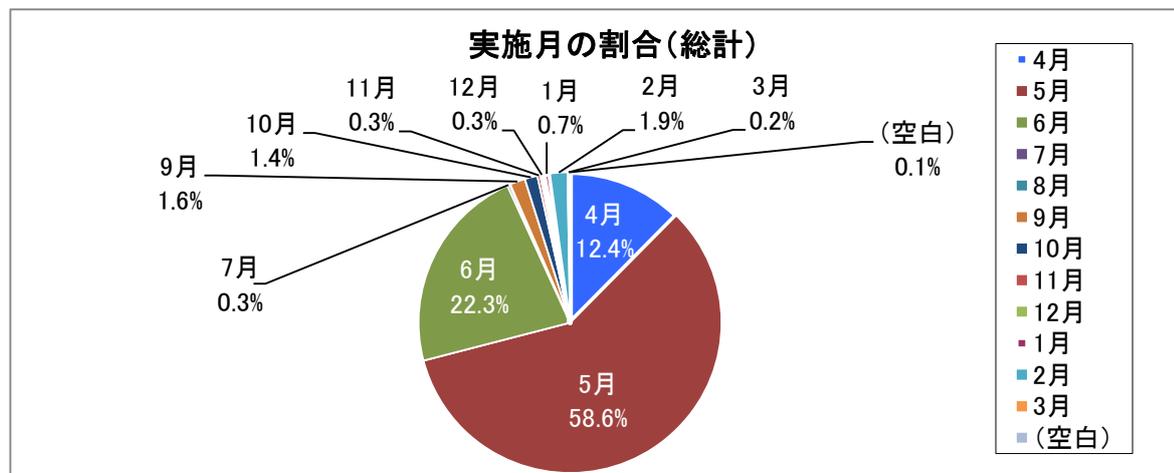
	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	総計
対象校	96	97	102	330	257	112	131	79	1,204
提出校数(実施校のみ)	96	94	101	329	256	99	129	76	1,180
実施なし校		3	1			1	2	3	10
提出総数	96	97	102	329	256	100	131	79	1,190
回答率	100.0%	100.0%	100.0%	99.7%	99.6%	89.3%	100.0%	100.0%	98.8%

1.2019(平成31、令和元)年度 実施状況について

1-(1) 旅行実施時期について(月別・県別)

(単位:校数)

出発月	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	総計	構成比
4月	60	6	9	5	54		1	11	146	12.4%
5月	15	61	82	172	166	66	82	47	691	58.6%
6月	20	6	7	137	33	9	39	12	263	22.3%
7月							2	1	3	0.3%
8月				1					1	0.1%
9月				7	1	7	2	2	19	1.6%
10月			1		1	14			16	1.4%
11月		3						1	4	0.3%
12月				1		3			4	0.3%
1月		1		2	1		2	2	8	0.7%
2月	1	14	2	4			1		22	1.9%
3月		2							2	0.2%
(空白)		1							1	0.1%
合計	96	94	101	329	256	99	129	76	1,180	100.0%



1-(2) 旅行日数について

(単位:校数)

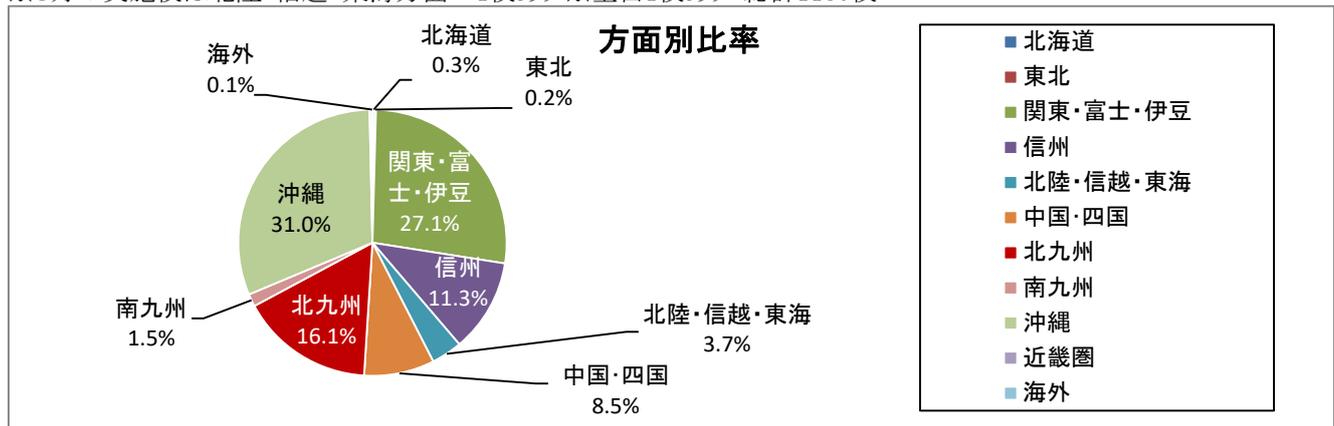
旅行日数	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	総計	構成比
1泊2日								1	1	0.1%
2泊3日	96	82	94	329	256	93	129	73	1,152	97.6%
3泊4日		11	7			6		1	25	2.1%
5日以上		1							1	0.1%
(空白)								1	1	0.1%
合計	96	94	101	329	256	99	129	76	1,180	100%

1-(3) 旅行実施方面について(月別・方面別)

(単位:校数)

方面	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計	構成比
北海道		3										3	0.3%
東北			1				1					2	0.2%
関東・富士・伊豆	31	214	45		9	16	1	1	1	1		319	27.1%
信州	9	69	26	1	4				3	19	2	133	11.3%
北陸・信越・東海	2	20	15	1	1		1		3	1		44	3.7%
中国・四国		61	34	1	3				1			100	8.5%
北九州	40	103	45		1				1			190	16.1%
南九州		11	6						1			18	1.5%
沖縄	63	210	88		1			3				365	31.0%
近畿圏		1	2									3	0.3%
海外							1					1	0.1%
総計	145	692	262	3	19	16	4	4	10	21	2	1,178	100.0%

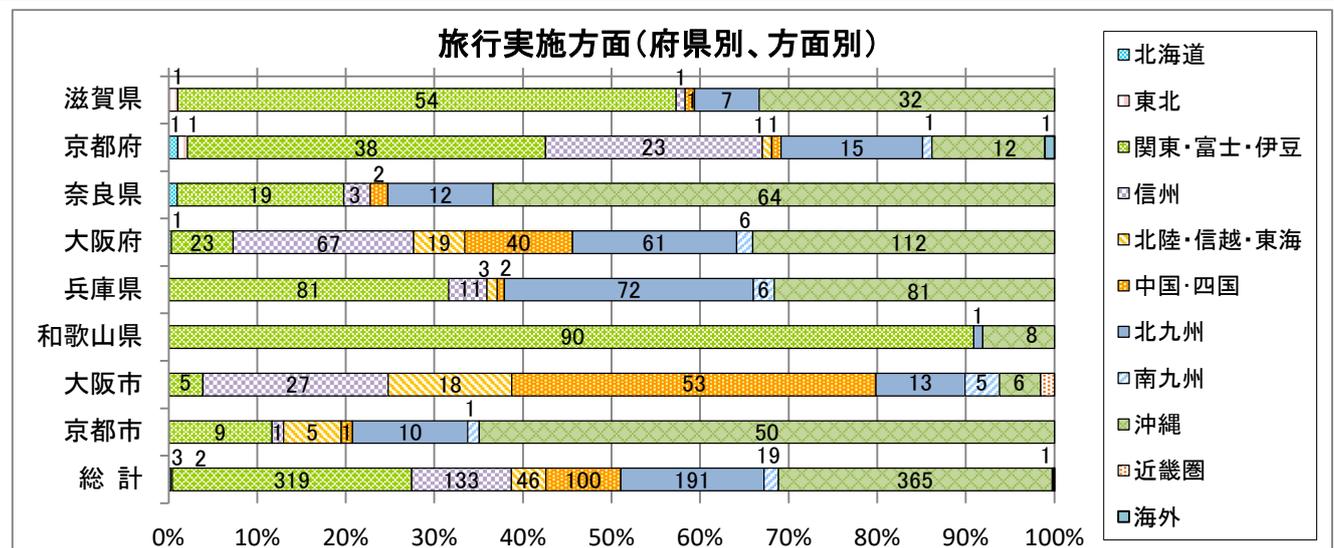
※8月の実施校は北陸・信越・東海方面へ1校あり ※空白1校あり 総計1180校



1-(4) 旅行実施方面について(府県市別・方面別) ※実施方面空白1校を除く

(単位:校数)

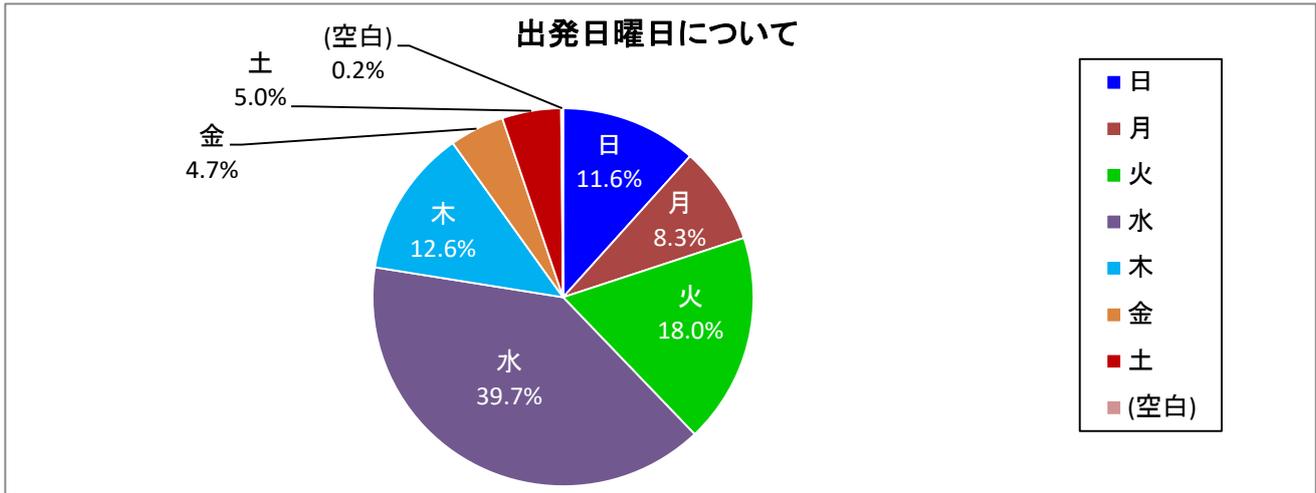
方面									昨年度				
	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	総計	比率	総数	比率	昨年差異
北海道			1	1					3	0.3%	5	0.4%	-0.2%
東北	1	1							2	0.2%	2	0.2%	0.0%
関東・富士・伊豆	54	38	19	23	81	90	5	9	319	27.0%	314	26.7%	0.3%
信州	1	23	3	67	11		27	1	133	11.3%	142	12.1%	-0.8%
北陸・信越・東海		1		19	3		18	5	46	3.9%	48	4.1%	-0.2%
中国・四国	1	1	2	40	2		53	1	100	8.5%	100	8.5%	0.0%
北九州	7	15	12	61	72	1	13	10	191	16.2%	197	16.8%	-0.6%
南九州		1		6	6		5	1	19	1.6%	18	1.5%	0.1%
沖縄	32	12	64	112	81	8	6	50	365	30.9%	348	29.6%	1.3%
近畿圏							2		2	0.2%	0	0.0%	0.2%
海外		1							1	0.1%	1	0.1%	0.0%
総計	96	94	101	329	256	99	129	77	1,181	100.0%	1,175		



1-(5) 旅行実施(出発日)の曜日について(府県市別・方面別)

(単位:校数)

曜日	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	総計	構成比
日	7	16	9	62	19	10	8	6	137	11.6%
月	9	11	8	25	28	8	5	4	98	8.3%
火	4	12	22	28	65	29	35	17	212	18.0%
水	52	35	46	140	92	37	43	23	468	39.7%
木	20	17	9	42	22	8	21	10	149	12.6%
金	4		5	15	12	1	11	7	55	4.7%
土		2	2	17	18	6	6	8	59	5.0%
(空白)		1						1	2	0.2%
総計	96	94	101	329	256	99	129	76	1,180	100.0%

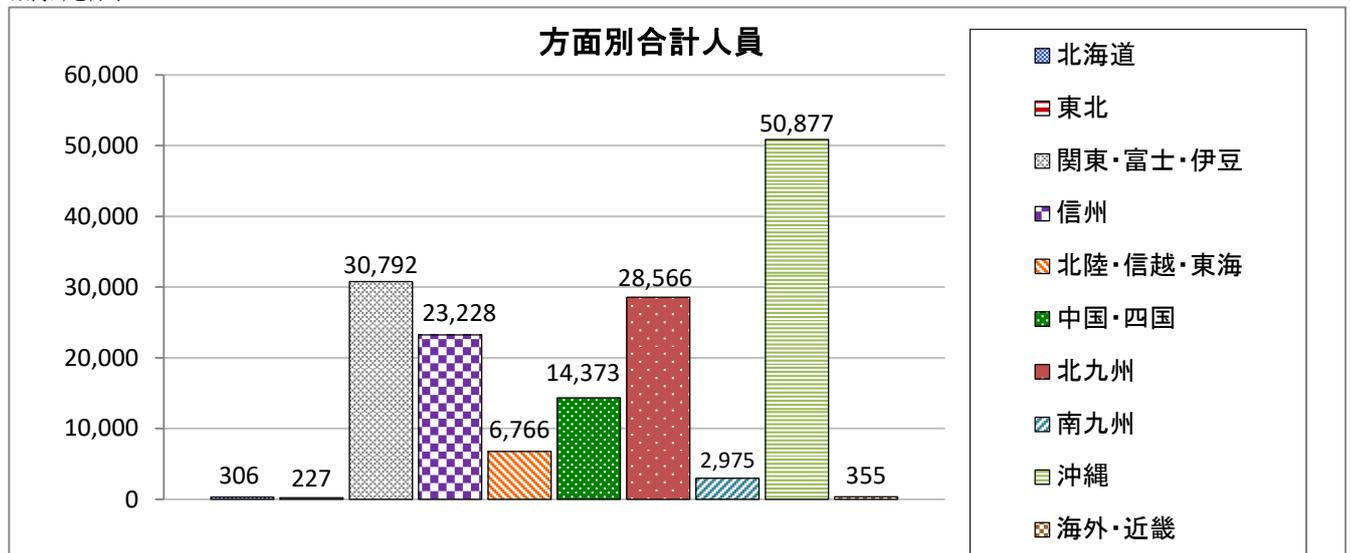


1-(6) 府県市別・方面別参加人員合計

(単位:人員)

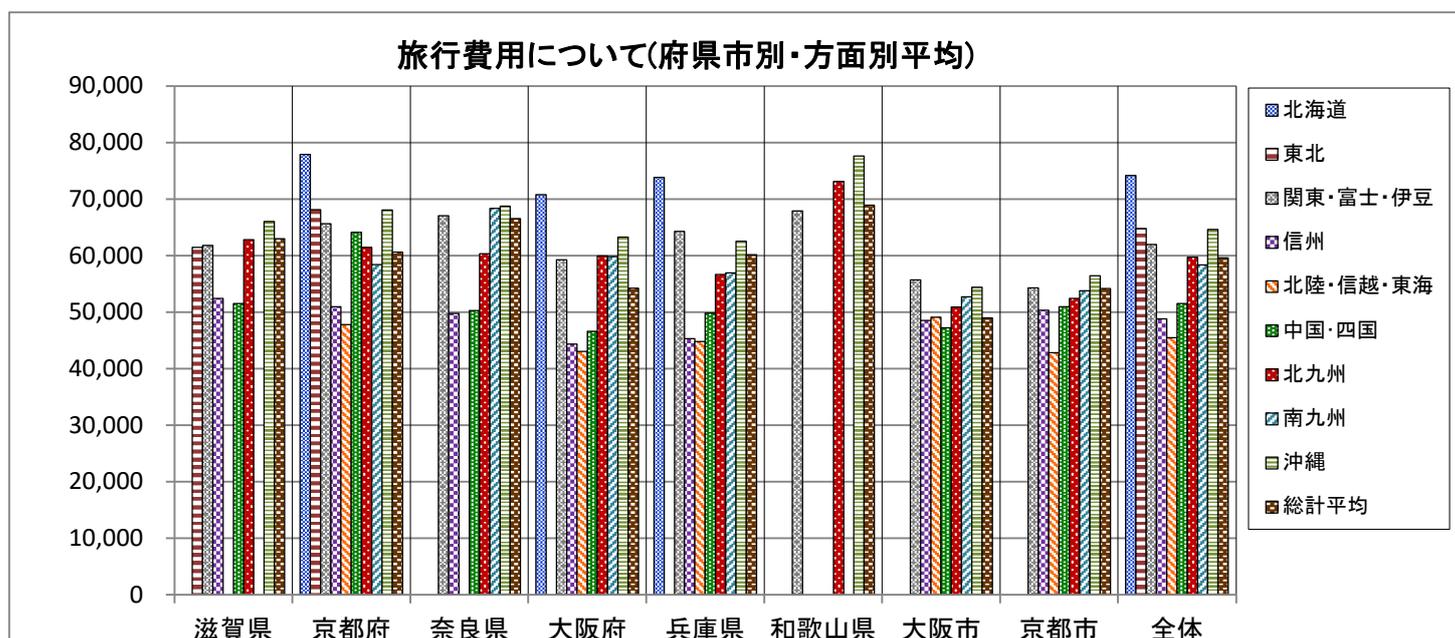
方面	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	方面別合計	構成比
北海道		116	30	160					306	0.2%
東北	184	43							227	0.1%
関東・富士・伊豆	7,523	3,185	2,014	3,640	7,340	5,759	586	745	30,792	19.4%
信州	266	3,632	744	11,799	2,255		4,503	29	23,228	14.7%
北陸・信越・東海		118		3,767	378		2,343	160	6,766	4.3%
中国・四国	126	7	343	6,406	494		6,867	130	14,373	9.1%
北九州	1,014	1,308	1,657	9,700	11,416	107	1,720	1,644	28,566	18.0%
南九州		151		929	1,199		696		2,975	1.9%
沖縄	4,623	1,318	6,456	18,365	11,946	229	706	7,234	50,877	32.1%
海外・近畿		89					266		355	0.2%
県別合計	13,736	9,967	11,244	54,766	35,028	6,095	17,687	9,942	158,465	100.0%

※海外を除く



1-(7) 旅行費用について 最高額、最低額、平均額 (府県市別・方面別) (単位:円)

方面		滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	全体
北海道	最高額		76,330	86,862	70,646					86,862
	最低額		76,330	86,862	70,646					70,646
	平均額		76,330	86,862	70,646					77,946
東北	最高額	67,368	70,333							70,333
	最低額	67,368	70,333							67,368
	平均額	67,368	70,333							68,851
関東・富士・伊豆	最高額	76,500	94,201	94,700	71,159	74,500	85,888	66,566	69,000	94,700
	最低額	48,926	55,345	59,414	46,827	43,546	55,135	49,747	49,689	43,546
	平均額	61,993	67,942	67,766	59,338	64,739	68,019	54,593	55,397	64,977
信州	最高額	54,523	69,427	51,760	55,385	52,708		53,241	51,998	69,427
	最低額	54,523	45,605	50,808	37,982	41,400		40,000	51,998	37,982
	平均額	54,523	53,004	51,334	44,183	46,681		48,010	51,998	47,033
北陸・信越・東海	最高額		43,989		48,928	52,710		61,052	53,077	61,052
	最低額		43,989		38,349	43,523		41,350	41,801	38,349
	平均額		43,989		44,423	47,973		48,260	46,954	46,465
中国・四国	最高額	52,879	134,193	54,261	57,298	53,789		54,649	50,521	134,193
	最低額	52,879	134,193	50,631	37,480	43,466		42,000	50,521	37,480
	平均額	52,879	134,193	52,446	47,622	48,633		47,549	50,521	48,668
北九州	最高額	65,250	76,311	65,283	70,658	67,911	64,071	54,800	54,000	76,311
	最低額	57,727	54,409	55,471	49,759	45,000	64,071	48,085	49,666	45,000
	平均額	62,354	63,065	62,306	57,147	57,566	64,071	51,444	52,911	57,723
南九州	最高額		56,527		68,200	60,183		56,296		68,200
	最低額		56,527		51,456	55,108		50,000		50,000
	平均額		56,527		58,390	55,568		52,787		55,790
沖縄	最高額	77,168	74,543	106,179	77,780	76,543	84,524	55,000	76,684	106,179
	最低額	58,391	62,906	55,219	54,081	54,865	69,426	53,900	53,629	53,629
	平均額	67,505	67,787	69,024	62,626	62,500	79,225	54,706	57,124	63,804
総計	最高額	77,168	134,193	106,179	77,780	76,543	85,888	66,566	76,684	134,193
	最低額	52,879	45,605	50,631	37,480	41,400	55,135	40,000	41,801	37,480
	平均額	63,739	65,783	67,312	54,755	60,739	68,885	48,959	55,774	59,377



1-(8) 旅行費用について・集約列車・独自と平均旅行代金対比(主な運行方面)

(単位:円)

主要交通機関	関東・富士・伊豆	北九州	南九州	全体平均
①集約利用	60,258	56,101	54,775	57,744
②独自	65,067	58,945	64,196	62,863
差①-②	▲4,809	▲2,844	▲9,421	▲4,684

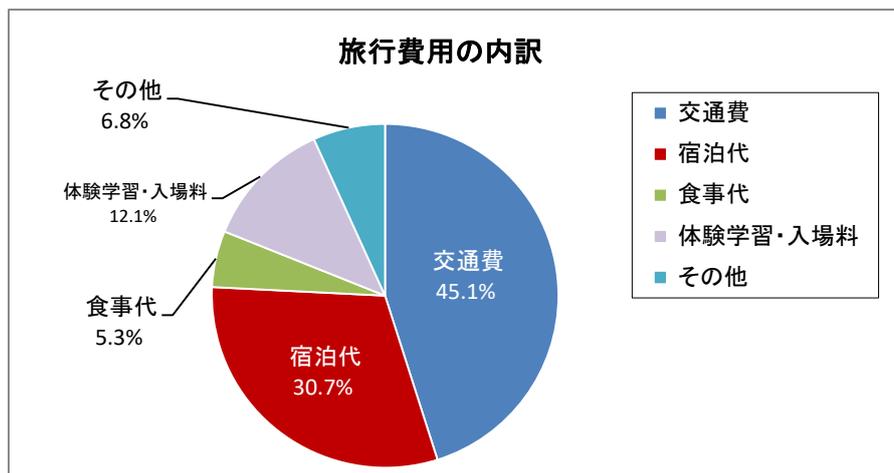
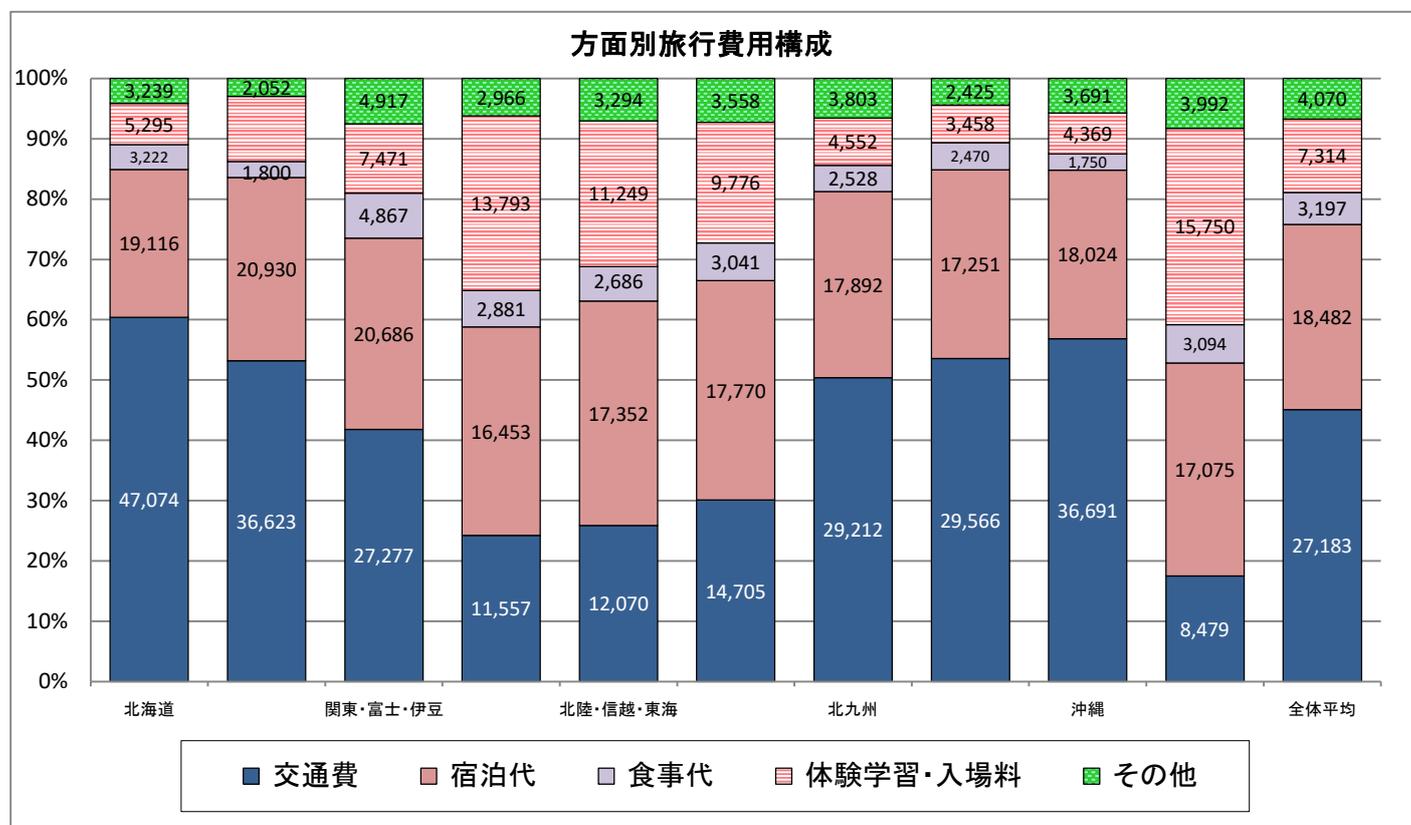
1-(9) 旅行費用について 平均額 (項目別・構成比)

(単位:円)

	北海道	東北	関東・富士・伊豆	信州	北陸・信越・東海	中国・四国	北九州	南九州	沖縄	近畿	全体平均	構成比
交通費	47,074	36,623	27,277	11,557	12,070	14,705	29,212	29,566	36,691	8,479	27,183	45.1%
宿泊代	19,116	20,930	20,686	16,453	17,352	17,770	17,892	17,251	18,024	17,075	18,482	30.7%
食事代	3,222	1,800	4,867	2,881	2,686	3,041	2,528	2,470	1,750	3,094	3,197	5.3%
体験学習・入場料	5,295	7,446	7,471	13,793	11,249	9,776	4,552	3,458	4,369	15,750	7,314	12.1%
その他	3,239	2,052	4,917	2,966	3,294	3,558	3,803	2,425	3,691	3,992	4,070	6.8%
旅行費用合計	77,946	68,851	65,218	47,650	46,651	48,850	57,987	55,170	64,525	48,390	60,246	100.0%
全体に占める交通費の割合	60.4%	53.2%	41.8%	24.3%	25.9%	30.1%	50.4%	53.6%	56.9%	17.5%	45.1%	

※海外コースは除く。

※「方面別旅費合計額」が1-(7)と異なるのは、本対象に「包括旅行代金」にて実施した学校を含まないため。



1-(10) 宿泊地について(1泊目)

(単位:校数)

方面	都道府県	宿泊地	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	総計	
北海道	北海道	ニセコ町		1		1					2	
		札幌市			1						1	
計			0	1	1	1	0	0	0	0	3	
東北	宮城県	陸前高田市	1								1	
	福島県	天栄村		1							1	
計			1	1	0	0	0	0	0	0	2	
関東・富士・伊豆	群馬県	みなかみ町							1		1	
	埼玉県	秩父市				1					1	
	千葉県	浦安市	32	5	4	5	38	27	2	3	116	
		千葉市	3		2	1	1	6			13	
		鴨川市				1					1	
	東京都	江東区	2	3	2		4	5				16
		港区		5	1		2	6				14
		新宿区		3	1		1	4		1		10
		千代田区		3			6	9				18
		台東区	1	5			1	3				10
		大田区		1							1	2
		中央区		3	2		3	7				15
		品川区					2	7				9
		文京区					3	4				7
		荒川区	1									
		渋谷区		1								
		江戸川区		1								
		豊島区		2			1	8				11
	墨田区	4	4	1		7	3			1	20	
	神奈川県	三浦市	1									1
		横浜市	1	1			1					3
	山梨県	山中湖村	5		1	8	2					16
		富士河口湖町	1		3	5	5			3		17
富士吉田市				1							1	
静岡県	伊東市	2		1	2						5	
計			53	37	19	23	77	89	6	6	307	
信州	長野県	阿智村				3	1		3		7	
		茅野市		2		1			1		4	
		山ノ内町		11	2		8				21	
		松本市				4					4	
		小谷村		1		1			4		6	
		安曇野市				7					7	
		飯山市	3								3	
		信濃町		1							1	
		長野市				11				1		12
		松川町		1								1
		白馬村	1	7	1	27	2		7	1	46	
		飯田市				12			6		18	
		伊那市	1			1			2		4	
立科町				1			1	1	3			
計			5	23	3	68	11	0	25	2	137	
北陸・信越・東海	岐阜県	郡上市				7	1		14		22	
		高山市				3			2		5	
		飛騨市				2					2	
	新潟県	津南町						2			2	
		妙高市							1		1	
	富山県	朝日町				2					2	
		立山町		1		1			2		4	
		富山市				1					1	
	福井県	あわら市									1	1
		美浜町				1						1
	愛知県	名古屋市									1	1
南知多市										1	1	
計			0	1	0	17	3	0	19	3	43	
中国・四国	広島県	広島市	1				1		2	1	5	
		庄原市							1		1	
		大崎上島町				1			4		5	
		呉市				2			3		5	
		福山市							1		1	
		安芸太田町				1			1		2	
		宮島・廿日市				11			2		13	
	鳥取県	倉吉市					4		2		6	
		岩美町				1					1	
		伯耆町							1		1	
		鳥取市				1					1	
	山口県	湯梨浜町							2		2	
		周防大島町					5			2	7	

1-(10) 宿泊地について(1泊目)

方面	都道府県	宿泊地	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	総計	
中国・四国	高知県	高知市			1	2			2		5	
		安芸市							1		1	
		大豊町							3		3	
		芸西村				1			1		2	
		室戸市							1		1	
		香南市							1		1	
	香川県	琴平町			1						1	
		丸亀市				1					1	
	徳島県	三好市				4				10		14
		海陽町		1								1
		美馬市								2		2
		牟岐町								1		1
	愛媛県	今治市				4				3		7
		松山市						1		5		6
		西条市							2		2	
計			1	1	2	38	2	0	53	1	98	
北九州	福岡県	北九州市						1			1	
		熊本市		1							1	
	熊本県	天草市								1		0
		八代市									1	1
		南小国町										0
		人吉市						1		2		3
	大分県	宇佐市								1	1	2
		国東市			1							1
	佐賀県	唐津市				1	10			1		12
		玄海町								1		1
		武雄市		1								1
		嬉野市						1				1
	長崎県	雲仙市								1		1
		佐世保市					1	9				10
		大村市		1								1
		松浦市			1	1	5			1	2	10
		長崎市	6	11	5	54	42	1	6	2	127	
南島原市					1	2				2	5	
五島市				2	1	1					4	
壱岐市			1	2	2				3	3	11	
計			6	15	11	61	72	1	16	10	192	
南九州	鹿児島県	指宿市				2	1				3	
		鹿児島市		1		2	2		1		6	
		薩摩川内市								1		1
		南九州市				1						1
		霧島市				1	2					3
計			0	1	0	6	5	0	2	0	14	
沖縄	沖縄県	うるま市	1	1	9	12	3				1	27
		伊江村				4	2				12	18
		恩納村	7	1	8	22	16	1	3		1	59
		金武町				1	1					3
		国頭村			3							4
		今帰仁村	2	2	6	13	7				5	35
		糸満市			2	5	3					10
		沖縄市	1				1					2
		東村				1	2					3
		読谷村	2	4	10	7	10				8	41
		那覇市	3	1	2	1	3	3				13
		南城市	1		5	10	3		2	8		29
		北谷町	3						1			4
		中城村	1	1			2					4
		北中城村	1		2	3	1					7
		本部町	4	2	10	19	13	3			10	61
		名護市	1		3	10	13					27
		与那原町					1					1
		豊見城市				1						1
大宜味村			1	1	1				1	4		
宜野湾市	1		1							2		
計			28	12	62	110	82	8	5	48	355	
近畿	和歌山県	白浜町							1		1	
		串本町							1		1	
計			0	0	0	0	0	0	2	0	2	
海外	オーストラリア	ケアンズ		1							1	
計			0	1	0	0	0	0	0	0	1	

1-(10) 宿泊地について(2泊目)

(単位:校数)

方面	都道府県	宿泊地	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	総計	
北海道	北海道	新十津川市			1						1	
		ニセコ町		1		1					2	
計			0	1	1	1	0	0	0	0	3	
東北	宮城県	陸前高田市	1								1	
	福島県	天栄村		1							1	
計			1	1	0	0	0	0	0	0	2	
関東・富士・伊豆	千葉県	浦安市	24	10	4	12	23	31	2	4	110	
		館山市	1							12	13	
		千葉市	1		5	6	1	6			19	
	東京都	江東区	1		3	2		5	3			14
		港区			4	2	1	3	5			15
		新宿区			2	1		1	4		2	10
		渋谷区						1				1
		千代田区			2		1	6	9			18
		台東区			4			5	1			10
		大田区						2				2
		中央区			3	1		3	7			14
		品川区				1		3	6			10
		文京区						6	4			10
		江戸川区			1							1
		荒川区	1									1
		豊島区			3			1	8			12
		墨田区	2		3			8	3			16
	神奈川県	横須賀市	1							1		2
		鎌倉市						1				1
		三浦市	3									3
		横浜市			1					1		2
	山梨県	山中湖村	8		1	1	1	2				13
		富士河口湖町					2	8		1		11
	静岡県	伊東市	7								1	8
	計			49	37	17	23	79	87	5	19	316
	信州	長野県	阿智村				1			3		4
			茅野市		2		2			1		5
山ノ内町				11	2		8				21	
松本市						3	1		2		6	
小谷村				1		5			2		8	
飯山市			3						1		4	
信濃町				1							1	
大町市							1				1	
長野市							1				1	
安曇野市							4				4	
白馬村			1	8	1	33	1		9	1	54	
飯田市						11	1				12	
伊那市						2				2	4	
立科町						1				1	2	
計			4	23	3	64	11	0	21	1	127	
北陸・信越・東海	岐阜県	郡上市				8			12		20	
		岐阜市							1		1	
		高山市				3	1		3		7	
		飛騨市				2					2	
	新潟県	津南町					2				2	
	富山県	立山市		1		1					2	
		朝日町				3					3	
		黒部市								1	1	
福井県	美浜町				1					1		
愛知県	名古屋市								1	1		
計			0	1	0	18	3	0	17	1	40	
中国・四国	岡山県	瀬戸内市			1						1	
		倉敷市							1		1	
	広島県	広島市				1			1		2	
		大崎上島町				2	2		6		10	
		江田島市	1			8					9	
		尾道市							1		1	
		安芸太田町				1			1		2	
		北広島市				1					1	
		福山市							5		5	
	廿日市市				1			1		2		
	山口県	周防大島町				5			3		8	
		周南市							1		1	
	鳥取県	倉吉市				1			2		3	
湯梨浜町					5			3		8		

1-(10) 宿泊地について(2泊目)

方面	都道府県	宿泊地	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	総計	
中国・四国	島根県	西ノ島町							1		1	
		高知県	高知市				1			2		3
	芸西村								5		5	
	大豊町					1			3		4	
	四万十市				1				1		2	
	須崎市						4		2		6	
	徳島県	三好市					2			9		11
		海陽町			1							1
		牟岐町								1		1
	香川県	琴平町					2			1		3
		今治市					2					2
	愛媛県	西条市					1			2		3
松山市									3	1	4	
計			1	1	2	38	2	0	55	1	100	
北九州	熊本県	熊本市								1	1	
		荒尾市									1	
	福岡県	福岡市	1					1				2
		北九州市							1			
		朝倉市					1	1				2
	大分県	宇佐市								1	1	2
		別府市			1							
	佐賀県	唐津市			1		4	7				12
		嬉野市					1	2				3
	長崎県	雲仙市			1		5			2		8
		佐世保市	1	3	1	6	19		1	1		32
		西海市	1								1	1
松浦市		3	2	3	14	11			1	2	36	
長崎市			8	3	12	22			1	2	48	
南島原市		1			14	4					19	
五島市		1		1	1	3					6	
壱岐市			1	2	4			4	2	13		
計		8	15	12	62	72	1	10	9	185		
南九州	宮崎県	小林市・えびの市					1				1	
		指宿市				1			1		2	
	鹿児島県	日置市		1								1
		垂水市						2				2
		鹿児島市					1					1
		南九州市						1				1
		出水市				3	2		3			8
		薩摩川内市				1						1
計		0	1	0	6	6	0	4	0	17		
沖縄	沖縄県	うるま市	3		12	13	9		2		39	
		伊江村	2		2	7	13	1		16	41	
		伊平野村				1					1	
		恩納村	4		5	15	10		2		36	
		金武町	1		2	7	4				14	
		国頭村						2			2	
		今帰仁村	4	2	7	11	7			4	35	
		糸満市			4	5	5			4	18	
		八重瀬町			1						1	
		東村				4	1				5	
		読谷村	3	3	10	10	5			4	35	
		那覇市	1	3	1	2	6	5		7	25	
		南城市	5		3	6	2		1	3	20	
		北谷町							1		1	
		北中城村			1	2					3	
		本部町		1	7	15	12	1		9	45	
		名護市	3	3	5	4	6			2	23	
沖縄市				1					1			
大宜味村	1		3	6	1				11			
渡嘉敷村				1					1			
計		27	12	63	110	83	8	5	49	357		
近畿	和歌山県	串本町							2		2	
計		0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	
海外	オーストラリア	ケアンズ		1							1	
計		0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	

1-(10) 民泊の利用状況(1泊目)

(単位:校数)

方面	都道府県	宿泊地	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	総計
東北	宮城県	陸前高田市	1								1
	計		1	0	0	0	0	0	0	0	1
関東・富士・伊豆	埼玉県	秩父市				1					1
	千葉県	千葉市			1				1		2
		南房総市							1		1
	群馬県	みなかみ町				1			1		2
	計		0	0	1	3	0	0	3	0	7
信州	長野県	長野市				10			1		11
		白馬村		1		1	1		1		4
		松川村		1							1
		安曇野市				5					5
		伊那市	1			1			2		4
	飯田市				10			5		15	
	計		1	2	0	27	1	0	9	0	40
北陸・信越・東海	富山県	立山町							1		1
		朝日町				1					1
	岐阜県	郡上市				4			6		10
	計		0	0	0	5	0	0	7	0	12
中国・四国	鳥取県	佐治町				1					1
		倉吉市				4					4
		鳥取市				1					1
	山口県	周防大島町				1			1		2
	広島県	大崎上島町							3		3
		庄原市							1		1
		福山市							1		1
		安芸太田町				1					1
	徳島県	三好市				1			5		6
		美馬市							2		2
		海陽町							2		2
高知県	室戸市							1		1	
	大豊町							3		3	
	安芸市							1		1	
	計		0	0	0	4	0	0	20	0	24
北九州	大分県	宇佐市							1	1	2
		国東市			1						1
	佐賀県	唐津市					10				10
		玄海町							1		1
	長崎県	五島市	1		2		1				4
松浦市			1	2	1	5		1	2	12	
南島原市					1	2			1	4	
	計	1	1	5	2	18	0	3	4	34	
南九州	鹿児島県	南九州市				1					1
		薩摩川内市						1			1
	計		0	0	0	1	0	0	1	0	2
沖縄	沖縄県	伊江村				4	2			12	18
		金武町				1				1	2
		今帰仁村	1	2	4	2	6			2	17
		大宜味村			1	1	1			1	4
		東村				1	2				3
		読谷村	1	2	3	1	4			6	17
		南城市	1		4	2	2		1	7	17
		本部町			2		3			3	8
		中城村		1			1				2
		沖縄市	1								1
		北中城村	1				1				2
		与那原町					1				1
		糸満市			2		1				3
うるま市	1	1	1	1	1			1	6		
	計	6	6	17	13	25	0	1	33	101	
	1泊目合計		9	9	23	55	44	0	44	37	221

1-(10) 民泊の利用状況(2泊目)

(単位:校数)

方面	都道府県	宿泊地	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	総計	
北海道	北海道	ニセコ				1					1	
		計	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
東北	宮城	陸前高田市	1								1	
		計	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
関東・富士・伊豆	神奈川県	横須賀市	1						1		2	
		鎌倉市					1				1	
		計	1	0	0	0	1	0	1	0	3	
信州	長野県	長野市				1	1		1		3	
		伊那市				2			2		4	
		飯田市				4		1	4		9	
		白馬村		1		2			2		5	
		計	0	1	0	9	1	1	9	0	21	
北陸・信越・東海	新潟県	妙高市	1								1	
	富山県	立山町				1					1	
		朝日町				2					2	
	石川県	能登町									0	
	福井県	美浜町				1					1	
岐阜県	高山市					1				1		
		郡上市				1					1	
		計	1	0	0	5	1	0	0	0	7	
中国・四国	鳥取県	倉吉市				1			2		3	
		東広島市				1					1	
	広島県	福山市							5		5	
		江田島市	1			8					9	
		安芸太田町				1			1		2	
		大崎上島町				2	2		5		9	
	山口県	周南市							1		1	
		周防大島町				4			3		7	
	徳島県	三好市				1			4		5	
		牟岐町							1		1	
高知県	安芸市									0		
	大豊町				1			3		4		
	四万十市、三原村			1						1		
	須崎市				4			2		6		
		計	1	0	1	22	2	0	25	0	50	
北九州	大分県	宇佐市							1		1	
	福岡県	朝倉市					1				1	
	佐賀県	唐津市			1	4	7				12	
	長崎県	五島市	1		1	1	2					5
		松浦市	3	2	3	14	11		1	2	36	
西海市		1							1	2		
		南島原市				13	4				17	
		計	5	2	5	32	25	0	2	3	74	
南九州	宮崎県	小林市					1				1	
	鹿児島県	薩摩川内市				1						
		垂水市						2				
		出水市				3	2		3		8	
		南九州市					1		1	2		
		計	0	0	0	4	6	0	4	0	11	
沖縄	沖縄県	伊江村	2		2	7	13	1		16	41	
		糸満市			1	2	2				5	
		伊平野村				1					1	
		沖縄市				1					1	
		金武町			2	5	4				11	
		今帰仁村	4	1	4	10	4			3	26	
		大宜味村	1		3	5	1				10	
		東村				4	1				5	
		読谷村	3	3	1	8	2			1	18	
		名護市	2								2	
		南城市	5		3	5	1		1	2	17	
		国頭村			1		1				2	
		中城村	1								1	
		本部町	2		3	8	6	1		5	25	
		渡嘉敷村				1						
		八重瀬町			1							
北中城村				1					1			
うるま市	3		10	10	3				26			
		計	23	4	31	68	38	2	1	27	192	
2泊目合計			32	7	37	141	74	3	42	30	366	

1-(11) 宿泊機関について

行先	都道府県	宿泊地区	機関名
北海道	北海道	新十津川町	グリーンパークしんとつかわ
		札幌市	ニューオータニイン札幌
		倶知安町	札幌定山溪ホテル
東北	福島県	岩瀬郡天栄村	ブリティッシュヒルズ
関東 富士 伊豆	神奈川県	三浦市	マホロバマインズ三浦
		横浜市	ホテルニューグランド
			新横浜プリンスホテル
	ホテルモントレ横浜		
	千葉県	浦安市	日和ホテル舞浜
			三井ガーデンホテルプラナ東京ベイ
			東京ベイ舞浜ホテルリゾート
			SPA&HOTEL舞浜ユーラシア
			浦安ブライTONホテル東京ベイ
			オリエンタルホテル東京ベイ
			サンルートプラザ東京
			シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル
			ディズニーアンパサダーホテル
			東京ディズニーセレブレーションホテル
			東京ベイ東急ホテル
			ヒルトン東京ベイ
			ホテルイースト21東京
			ホテルマイステイズ舞浜
		ホテルエミオン東京ベイ	
		ホテルドリームゲート舞浜	
		ラ・ジェント・ホテル東京ベイ	
		千葉市	アバホテル&リゾート東京ベイ幕張
			ホテルグリーンタワー幕張
			ホテルニューオータニ美浜
			ホテルニューオータニ幕張
		ホテルフランス	
		江東区	東京スポーツ文化館
			東京ベイ有明ワシントンホテル
			ホテルサンルート有明
			ダイワロイネットホテル東京有明
		江戸川区	ホテルイースト21東京
			パールホテル葛西
		大田区	大森東急REIホテル
			Tマークシティホテル東京大森
	品川区	マイステイズプレミア大森	
		品川東武ホテル	
		第一ホテル東京シーフォート	
		東京グランドホテル	
	渋谷区	品川プリンスホテル	
		ニューオータニイン東京	
	新宿区	渋谷東急REIホテル	
		オリンピック記念青少年センター	
	墨田区	新宿ワシントンホテル	
		日本青年館ホテル	
		ホテルローズガーデン新宿	
		リーガロイヤルホテル東京	
	台東区	第一ホテル両国	
		東武ホテルレバント東京	
	中央区	パールホテル両国	
		両国ビューホテル	
	千代田区	浅草ビューホテル	
		ホテル丸谷	
		ユニゾイン浅草	
		銀座キャピタルホテル本館・茜	
	豊島区	パールホテル八重洲	
		住庄ホテル	
		パールホテル茅場町	
		赤坂エクセルホテル東急	
	文京区	ダイヤモンドホテル	
		都市センターホテル	
		ホテルグランドパレス	
		東京グリーンパレス	
	東京都	ホテルメトロポリタンエドモント	
		ホテルモントレ半蔵門	
		第一イン池袋	
		ホテルグランドシティ	
	東京都	ホテルベルクラシック東京	
		ホテルメトロポリタン池袋	
		水道橋グランドホテル	
		東京ドームホテル	

行先	都道府県	宿泊地区	機関名	
関東 富士 伊豆	東京都	港区	ホテル機山館	
			東京ガーデンパレス	
			品川プリンスホテル	
			赤坂陽光ホテル	
			グランドニッコー東京台場	
			チサンホテル浜松町	
			東京グランドホテル	
			ヒルトン東京お台場	
			マロウドイン赤坂	
			アジュール竹芝	
	ホテルラングウッド			
	山梨県	富士吉田市	山中湖村	山中湖ペンション村
			富士吉田市	ホテルエバーグリーン富士
		富士河口湖町	河口湖パールホテル	
			ロッジコニシ	
			フジ河口湖ドットコム	
			湖楽おんやど富士吟景	
			R139association	
			足和田ホテル	
			ロイヤルホテル河口湖	
			レイクランドホテルみずのさと	
	フジプレミアリゾート			
	ホテル湖龍			
	ホテル美富士園			
	長野県	飯田市	ロイヤルホテル河口湖	
			昼神グランド天心	
		阿智村	ホテル伊那華	
			ユルイの宿恵山	
		湯元ホテル阿智川		
		リフレッシュinひるがみの森		
		小谷村	ホテル伊那華	
			花薫宿よし乃亭	
		茅野市	久米川温泉	
			黒部観光ホテル	
	松本市	梅尾・丘の上ホテル・宮川		
		梅池観光ホテル		
	飯山市	リゾートインヤマイチ		
		ホテルグリーンプラザ白馬		
	信濃町	立科町	ロッジ太郎	
		黒姫ライジングサンホテル		
	白馬村	池の平白樺高原ホテル		
		亀屋ホテル		
	山ノ内町	八子ヶ峰ホテル		
		横谷温泉旅館		
	長野市	四季彩の宿うまぶき		
		ロイヤルホテル長野		
	飯山市	ホテルカラ松荘		
		休暇村乗鞍高原		
	白馬村	山水館信濃		
		アネックスアブラヤ		
	飯山市	ホテルタングラム		
		シャレーホテルハイジホフ		
	飯山市	ヴィラ雷鳥スキーハウスウルル		
		シェラリゾート白馬		
	飯山市	五龍館		
		ロッジ北林		
	飯山市	対岳館		
		白馬楡木ホテル		
	飯山市	ヴィラ雷鳥スキーハウスウルル		
		細野館		
	飯山市	志賀一井ホテル		
		志賀グランドホテル		
	飯山市	志賀ホワイトホテル		
		志賀レークホテル		
	飯山市	硯川ホテル		
		ホテル天高原		
	飯山市	高原リゾートホテルむつみ		
		ホテルサニー志賀		
	飯山市	ホテル一乃瀬		
		ホテル山楽		
	飯山市	ホテルジャパン志賀		
		ラフォーレ志賀		
	北陸 信越 東海	富山県	黒部町	やまのは
			富山市	立山国際ホテル
			朝日町	ホテルおがわ

行先	都道府県	宿泊地区	機関名	
北陸 信越 東海	富山県	立山町	グリーンパーク吉峰	
	福井県	あわら市	清風荘	
		美浜町	海のホテルひろせ	
	岐阜県	郡上市	鷺ヶ岳高原ホテルレインボー	
			郡上ヴァカンス村ホテル	
			ペンションブルーム	
			ホテル郡上八幡	
			郡上高原ホテル	
		岐阜市	白鳥高原ホテル	
			長良川温泉パーク	
			ひだホテルプラザ	
		高山市	ホテルアソシア高山リゾート	
			二人静白雲	
	飛騨市	龍リゾート&スパ		
	飛騨市	高原ロッジ大岩荘他		
愛知県	名古屋市	ホテルメルパルク名古屋		
三重県	鳥羽市	みち潮		
中国 四国	愛媛県	今治市	今治国際ホテル	
			ホテルアジュール汐の丸	
			茶園・さわき・富士見園	
		西条市	休暇村瀬戸内東予	
		松山市	奥道後壺湯の守	
			道後プリンスホテル	
			ホテルメルパルク名古屋	
		大三島町	憩いの家	
		岡山県	倉敷市	下電ホテル
		香川県	琴平町	琴平花壇
	琴平グランドホテル桜の抄			
	丸亀市	オークラホテル丸亀		
	安芸市	ロイヤルホテル土佐		
	高知県	高知市	土佐御苑	
			城西館	
	香南市	海辺の果樹園		
	徳島県	三好市	祖谷温泉ホテル秘境の湯	
			ホテルかづら橋	
	鳥取県	湯梨浜町	サンリバー大歩危	
			千年亭	
	伯耆町	望湖楼		
	広島県	廿日市市	大山ロイヤルホテル	
			いこいの村ひろしま	
			きのえ温泉ホテル清風館	
			千光寺山荘	
グリーンピアせとうち				
安芸グランドホテル				
国民宿舎みやじま杜の宿				
宮島シーサイドホテル				
宮島コーラルホテル				
宮浜グランドホテル				
菊乃屋				
広島市		グランドプリンスホテル広島		
		ホテル広島サンブラザ		
		世羅別館		
		ガーデンパレス		
	ホテルサンルート広島			
山口県	周防大島町	H&Rサンシャインサザンセット		
周防大島温泉ホテル大観荘				
アクティブリゾート福岡八幡				
福岡県	北九州市	六峰館		
		ヒルトン福岡シーホーク		
	福岡市	別府市	城島高原ホテル	
	熊本県	熊本市	ホテル法華クラブ熊本	
		荒尾市	ホテルヴェルデ	
		人吉市	清流山水花あゆの里	
	八代市	しのはらホテル浜善		
	佐賀県	嬉野市	ホテル華翠苑	
			和多屋別荘	
		唐津市	ホテル&リゾート佐賀唐津	
武雄市		なかます旅館		
壱岐市		壱岐ステラコート太安閣		
宝盛荘				
五島市	コンナカ王国			
長崎県	佐世保市	九十九島ベイサイドホテル&リゾートフラッグス		
		セントラルホテル佐世保		
		西海橋コラソンホテル		
		変なホテルハウステンボス		
		ホテルオークラJRハウステンボス		

行先	都道府県	宿泊地区	機関名	
北九州	長崎県	佐世保市	ホテル日航ハウステンボス	
			ホテルローレライ	
			ウォーターマークホテル長崎	
			フォレストヴィア	
			ANAクラウンプラザホテル長崎グラバービル	
			i+Land nagasaki	
			稲佐山観光ホテル	
			エスベリアホテル長崎	
			大江戸温泉物語長崎ホテル清風	
			ザ・ホテル長崎BWプレミアコレクション	
			長崎IKホテル	
			長崎あぐりの丘高原ホテル	
			セントラル長崎	
			長崎スカイホテル	
			長崎につしようかん	
		長崎ブルースカイホテル		
		長崎ホテル異邦館		
		長崎市	につしようかん新館梅松鶴	
			ビクトリア・イン長崎	
			ホテルJALシティ長崎	
			ホテルセントポール長崎	
			ホテル長崎	
			ホテルニュータンダ	
			ホテルニュー長崎	
			ホテルマリンワールド	
			ホテルモントレ長崎	
			矢太楼	
			ルークプラザホテル	
			矢太楼南館	
			長崎ワシントンホテル	
			ホテル清国	
			ミナトホテル	
		雲仙市	雲仙いわき旅館	
			ゆやど雲仙新湯	
			小浜温泉 雲仙荘 國崎	
			山田屋	
			和多屋	
		雲仙荘		
		宮崎県	宮崎市	ANAホリデイイン宮崎
				指宿海上ホテル
				指宿フェニックスホテル
				休暇村指宿
				霧島国際ホテル
				温泉ホテル中原別荘
				鹿児島サンロイヤルホテル
ベストウェスタンレンブラントホテル鹿児島リゾート				
サザンビーチホテル&リゾート沖縄				
糸満青年会館				
鹿児島県	指宿市	ホテルグランビューガーデン沖縄		
		AJリゾートアイランド伊計島		
		うるま市	ホテル浜比嘉島リゾート	
		沖繩市	オキナワグランメールリゾート	
		恩納村	沖繩かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ	
	コンドミニアムホテルしまんちゅクラブ			
	シエトン沖繩サンマリーナリゾート			
	にらい恩納			
	かねひで恩納村マリンビューパレス			
	ベストウェスタン沖繩恩納ビーチ			
みゆきハマバルリゾート				
リザンシーパークホテル谷茶ベイ				
ホテルムーンビーチ				
ホテルモントレ沖繩スパ&リゾート				
沖縄県	糸満市	ネイチャーみらい館		
		ザ・ビーチタワー沖縄		
		シーサイドホテルザ・ビーチ		
		北中城村	EMウェルネスリゾートコスタピスタ沖繩ホテル&スパ	
		宜野湾市	ラグナガーデンホテル	
	国頭村	オクマプライベートビーチ&リゾート		
	今帰仁村	リゾートホテルベルパライソ		
	プエナビスタ今帰仁			
	沖繩サンコーストホテル			
	名護市	オキナワマリriottリゾート&スパ		
ベストウェスタン沖繩幸喜ビーチ				
ホテルゆがふいんおきなわ				
ホテルリゾートネックス名護				
センチュリオンホテル沖繩名護シティ				

行先	都道府県	宿泊地区	機関名
沖縄	沖縄県	名護市	カスチャベイホテル
			かねひで喜瀬ビーチパレス
		那覇市	COMMUNITY&SPA那覇セントラルホテル
			沖縄国際ユースホステル
			沖縄サンプラザホテル
			沖縄ホテル
			沖縄那覇ホテル
			ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城
			南西観光ホテル
			ホテルリゾネックス沖縄
			パシフィックホテル沖縄
			ロイヤルオリオン
			ホテルオーシャン那覇国際通り
			ホテルサン沖縄
			ロワジールホテル那覇
		南城市	ユインチホテル南城
			ふれあいの郷南城
		本部町	センチュリオンホテルアンドリゾートヴィンテージ沖縄美ら海
			ホテルマハイナウエルネスリゾートオキナワ
			ホテルオリオンモトブリゾート&スパ
			ホテルゆがふいんBISE
			マリンピアザオキナワ
			本部グリーンパークホテル
読谷村	ビーチリゾートモリマー		
	ホテルむら咲むら		
	ロイヤルホテル沖縄残波岬		
近畿	和歌山県	串本町	ホテル&リゾート和歌山串本

1- (12) 宿泊施設の連泊数について

(単位:校数)

行先	連泊	単泊	実施校計	連泊率
北海道	0	3	3	0.0%
東北	2	0	2	100.0%
関東・富士・伊豆	175	144	319	54.9%
信州	65	68	133	48.9%
北陸・信越・東海	15	30	45	33.3%
中国・四国	9	91	100	9.0%
北九州	34	156	190	17.9%
南九州	0	18	18	0.0%
沖縄	72	293	365	19.7%
海外	1	0	1	100.0%
合計	373	803	1,176	31.7%

1- (13) 利用旅行会社について

(回答分のみ順不同)

・JTB西日本	・トラベルワールド
・JTB京阪トラベル	・日本トラベルセンター
・近畿日本ツーリスト関西	・日本観光旅行
・日本旅行	・龍神観光
・東武トップツアーズ	・ロイヤルツーリスト
・名鉄観光サービス	・京都第一ツーリスト
・阪急交通社	・サクラトラベル
・南海国際旅行	・いすず旅行
・エイチ・アイ・エス	・近畿観光
・農協観光	・サントラベルサービス
・三重交通	

1-(14)不参加生徒について

◆不参加生徒の有無

(単位:校数)

不参加生徒が	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	合計
いた	74	60	68	285	198	53	121	58	917
いなかった	22	33	33	44	58	43	8	18	259
計	96	93	101	329	256	96	129	76	1,176
いた:比率	77.1%	64.5%	67.3%	86.6%	77.3%	55.2%	93.8%	76.3%	78.0%

◆不参加生徒の理由

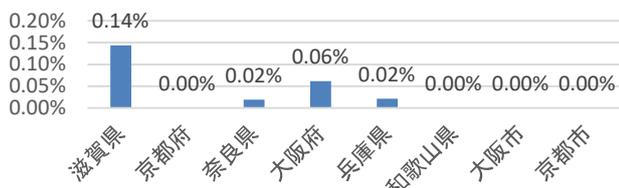
(単位:人員)

	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	合計
経済的理由	18	0	2	31	7	0	0	0	58
不登校	225	144	184	990	752	118	526	170	3,109
疾病・怪我	21	22	18	192	81	9	83	16	442
部活動等	0	1	3	35	20	0	12	24	95
その他	24	18	33	130	57	23	56	20	361
不参加生徒数計	288	185	240	1,378	917	150	674	230	4,062
参加生徒	12,227	8,980	9,975	48,701	31,173	5,279	15,487	8,798	140,620
参加予定人員計	12,515	9,165	10,215	50,079	32,090	5,429	16,161	9,028	144,682

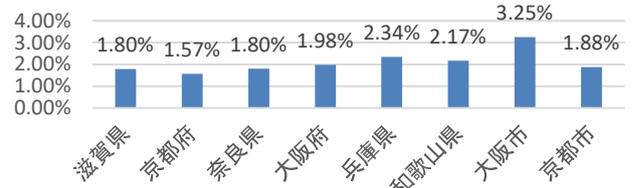
◆不参加生徒の理由別 比率 不参加理由/参加予定人員(不参加生徒+参加生徒)

	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	合計
経済的理由	0.14%	0.00%	0.02%	0.06%	0.02%	0.00%	0.00%	0.00%	0.04%
不登校	1.80%	1.57%	1.80%	1.98%	2.34%	2.17%	3.25%	1.88%	2.15%
疾病・怪我	0.17%	0.24%	0.18%	0.38%	0.25%	0.17%	0.51%	0.18%	0.31%
部活動等	0.00%	0.01%	0.03%	0.07%	0.06%	0.00%	0.07%	0.27%	0.07%
その他	0.19%	0.20%	0.32%	0.26%	0.18%	0.42%	0.35%	0.22%	0.25%
不参加生徒の比率	2.30%	2.02%	2.35%	2.75%	2.86%	2.76%	4.17%	2.55%	2.81%

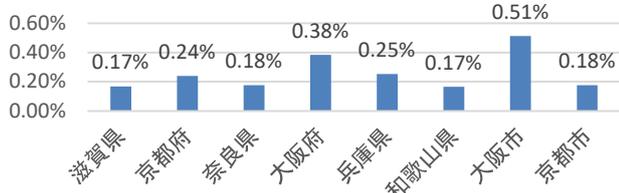
経済的理由



不登校



疾病・怪我



部活動等

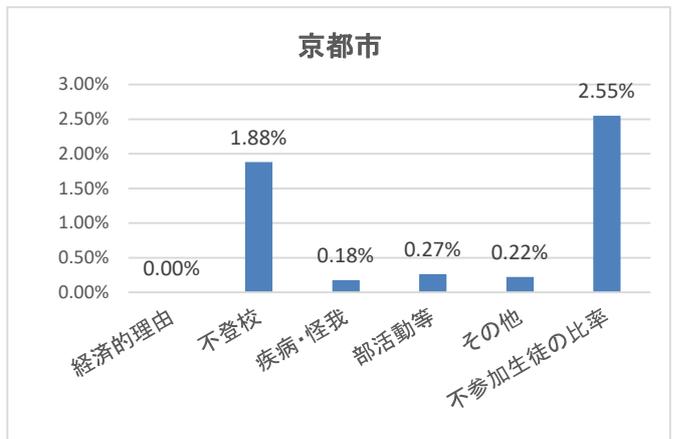
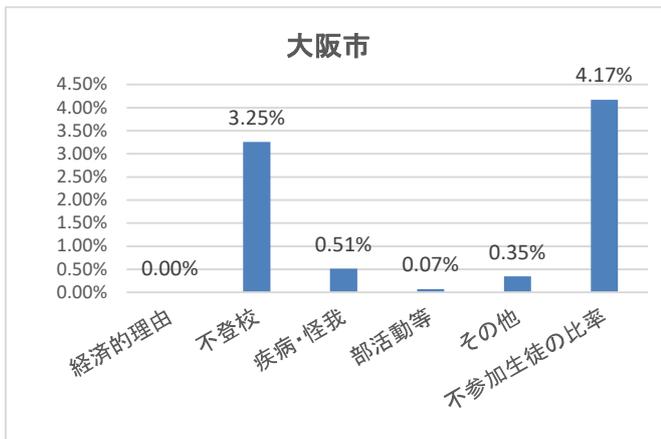
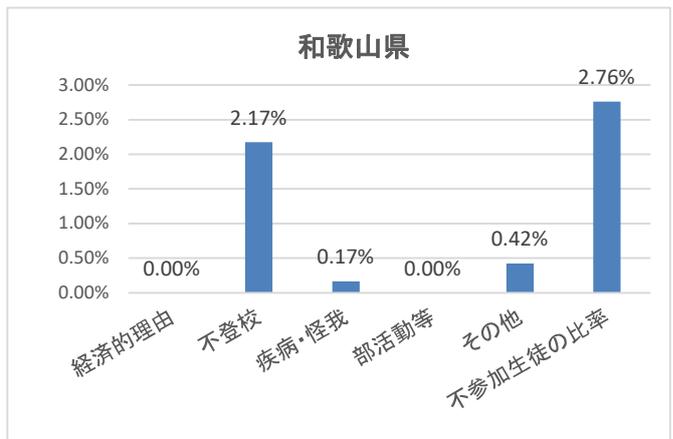
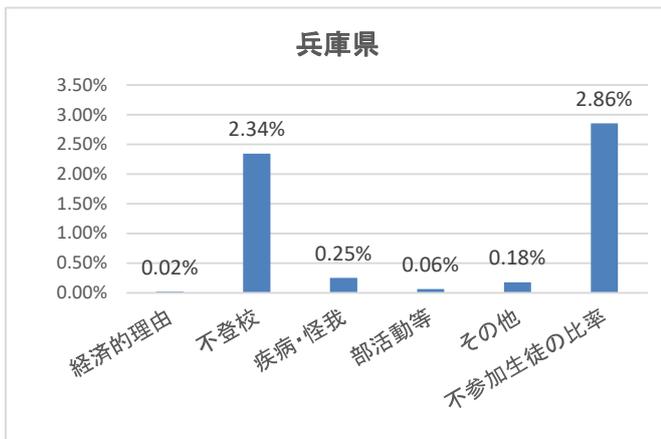
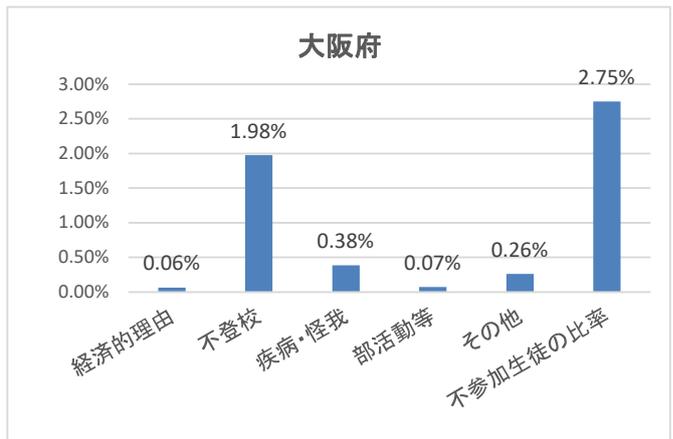
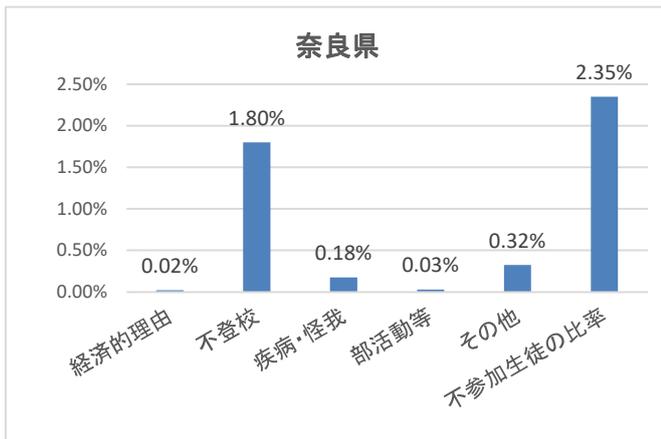
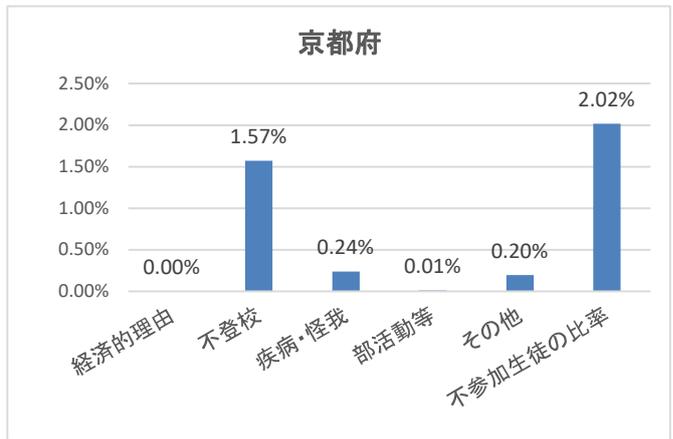
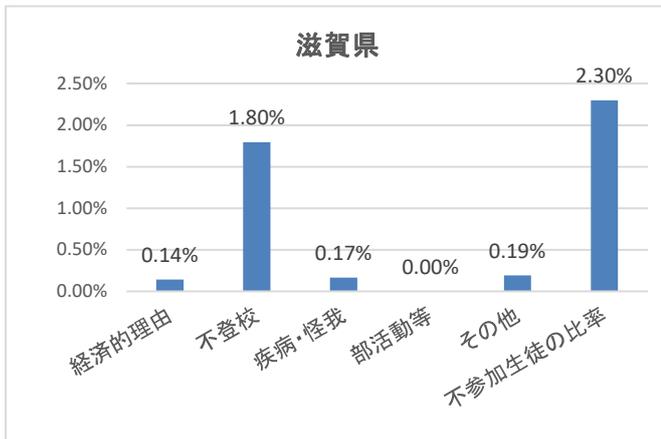


その他



不参加生徒の比率





2. 主要交通機関について

集約列車の利用状況

(単位:校数)

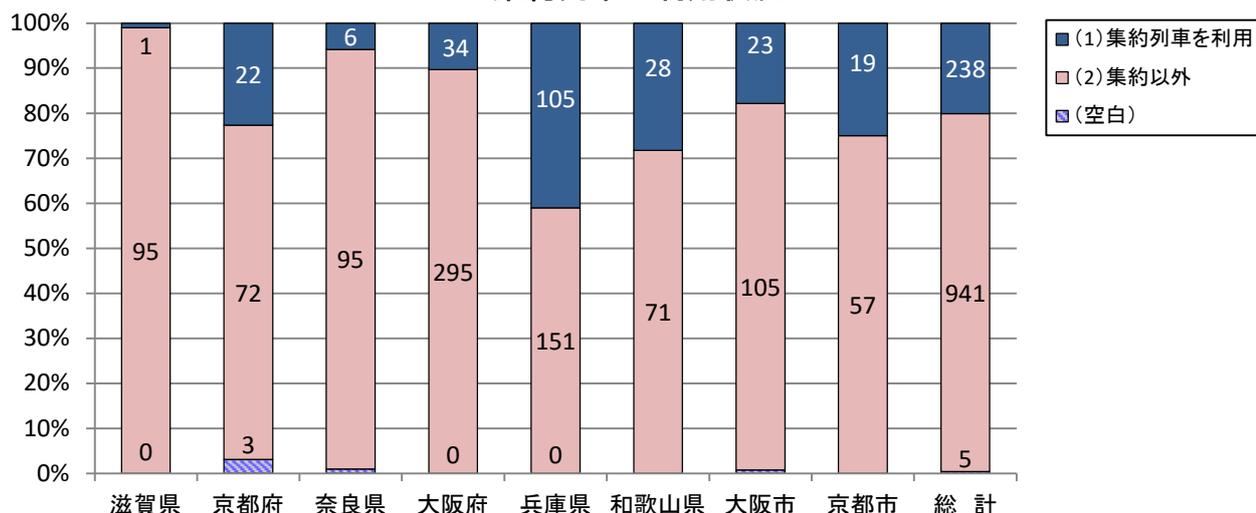
	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	総計	構成比
(1)集約列車を利用	1	22	6	34	105	28	23	19	238	20.1%
(2)集約以外	95	72	95	295	151	71	105	57	941	79.5%
(空白)		3	1				1		5	0.4%
総計	96	97	102	329	256	99	129	76	1,184	100.0%
集約列車の利用比率	1.0%	22.7%	5.9%	10.3%	41.0%	28.3%	17.8%	25.0%	20.1%	

利用交通機関

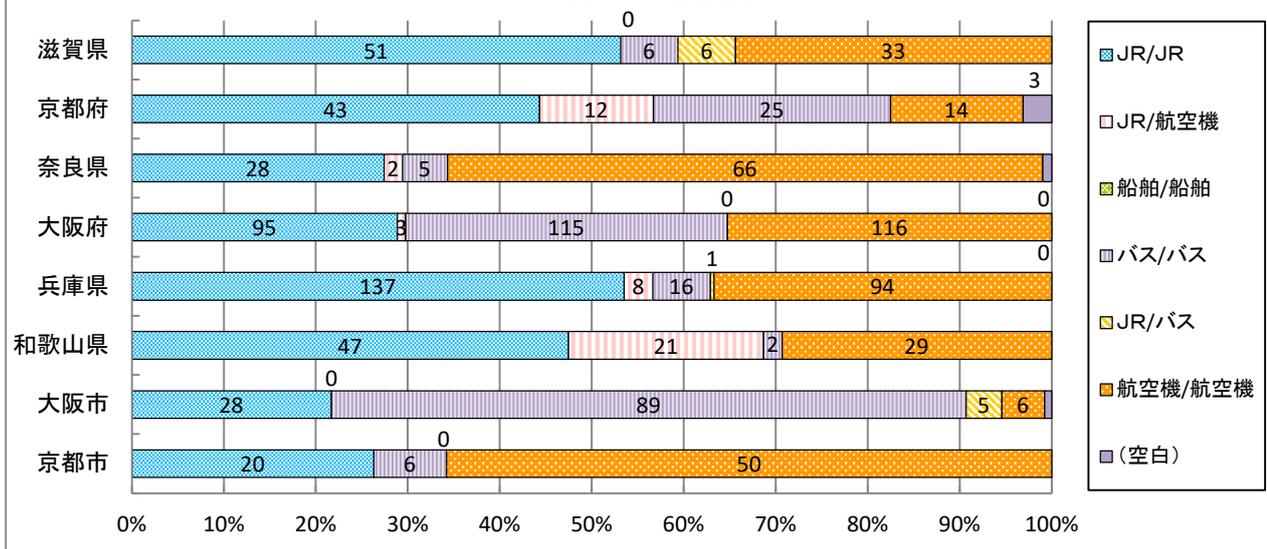
(単位:校数)

往路・復路/復路・往路	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	総計	構成比
J R/J R	51	43	28	95	137	47	28	20	449	37.9%
J R/航空機		12	2	3	8	21			46	3.9%
船舶/船舶									0	0.0%
バス/バス	6	25	5	115	16	2	89	6	264	22.3%
J R/バス	6				1		5		12	1.0%
航空機/航空機	33	14	66	116	94	29	6	50	408	34.5%
(空白)		3	1				1		5	0.4%
総計	96	97	102	329	256	99	129	76	1,184	100.0%

集約列車の利用状況



利用交通機関

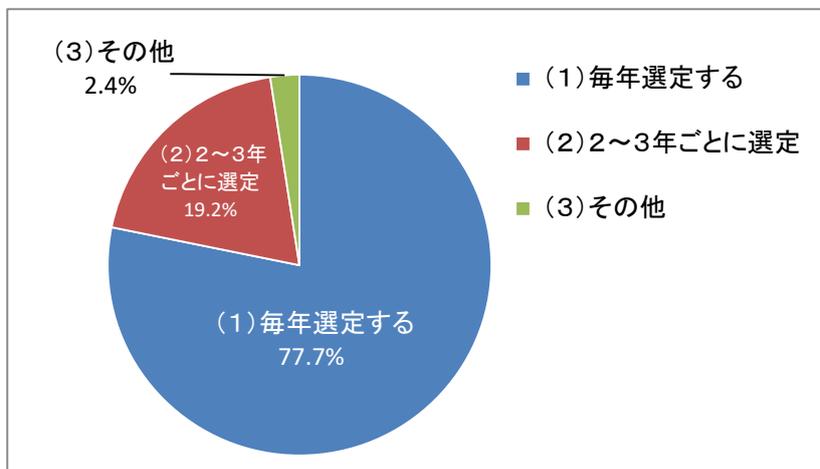


3.修学旅行実施旅行会社の選定について

(単位:校数)

選定方法	校数	割合
(1) 毎年選定する	922	77.7%
(2) 2～3年ごとに選定	228	19.2%
(3) その他	29	2.4%
(空白)	8	0.7%
合計	1,187	100.0%

※割合は回答数1,175に対する割合



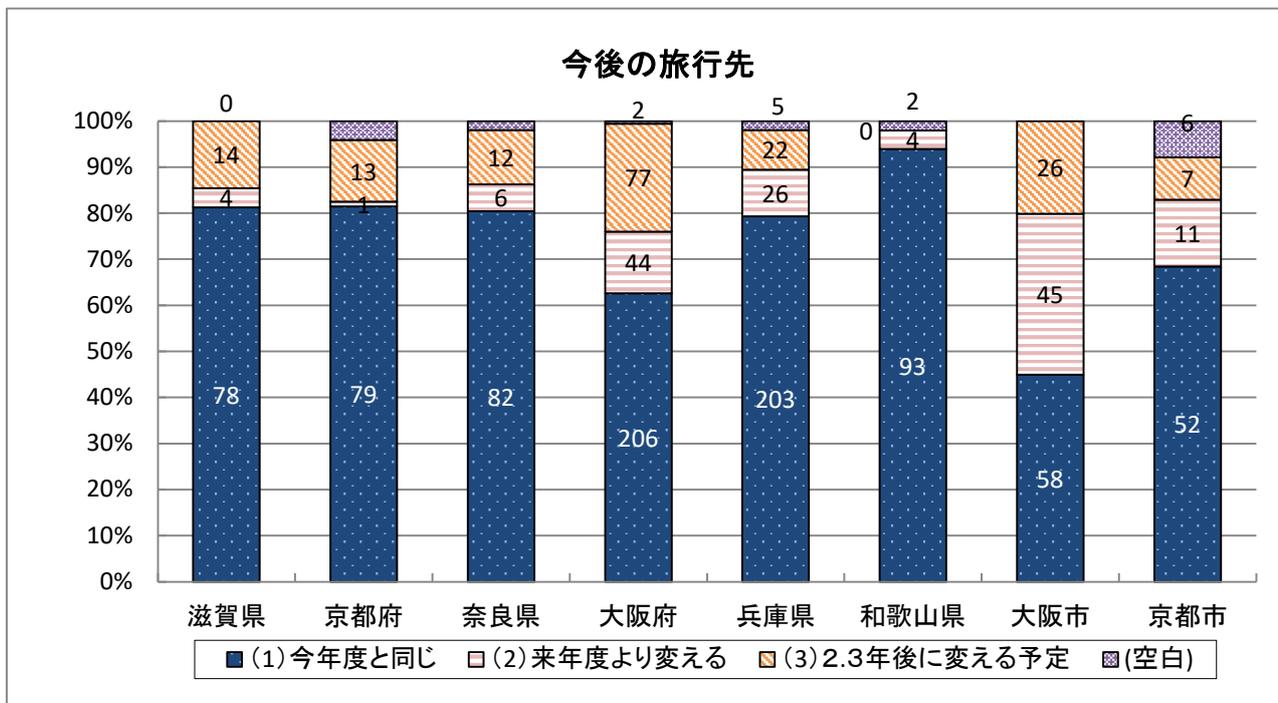
※(3)その他のコメント

- ・4～5年に一度選定
- ・県修学旅行団にて選定
- ・必要に応じて
- ・地元校長会にて指定(選定)
- ・不備が無ければ継続

4. 今後(数年内)の旅行先についてお聞かせください。

(単位:校数)

	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	総計
(1)今年度と同じ	78	79	82	206	203	93	58	52	851
(2)来年度より変える	4	1	6	44	26	4	45	11	141
(3)2.3年後に変える予定	14	13	12	77	22	0	26	7	171
(空白)	0	4	2	2	5	2	0	6	21
総計	96	97	102	329	256	99	129	76	1,184



◆上記で(2)(3)と回答校の変更後の行先予定(複数回答あり)

	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	総計
北海道									0
東北					1				1
関東・富士・伊豆	1			6	4		1		12
信州				6	2		10		18
北陸・信越・東海				2	1		8	1	12
中国・四国	1			8			22		31
北九州		1		8	9		3	1	22
南九州	1			2					3
沖縄	5	3	6	18	6	1	2	5	46
近畿圏		1							1
海外									0
(空白)	8	5	6	50	23	1	46	7	146

5. 「民泊」について

(1) 民泊を利用したか

□府県別利用状況

(単位:校数)

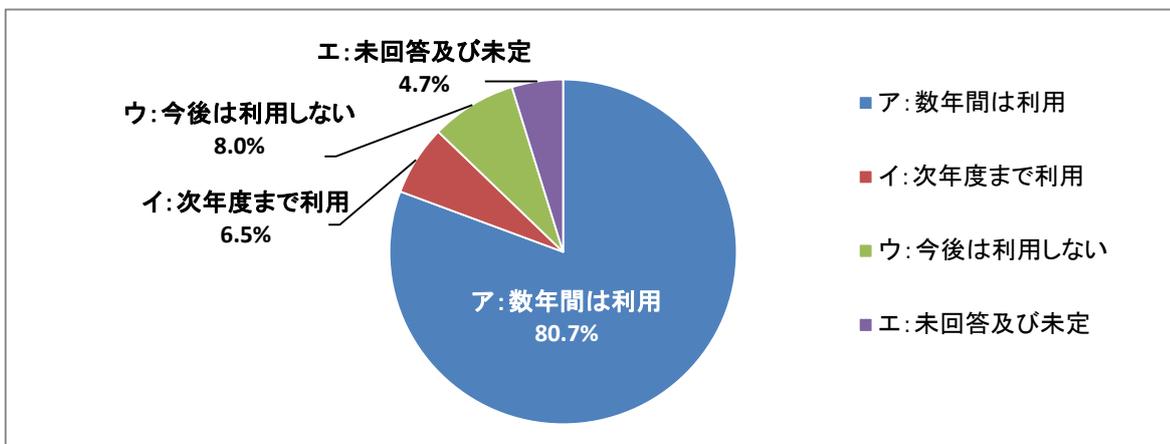
	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	合計	割合
利用した	52	18	57	210	125	2	94	53	611	51.6%
利用しなかった (空白)	43	71	44	115	124	97	35	22	551	46.5%
合計	96	97	102	329	256	99	129	76	1,184	100.0%
平成29年利用数	51	17	59	206	117	3	92	48	593	103.0%

←前年比

□民泊利用校における今後の利用予定

(単位:校数)

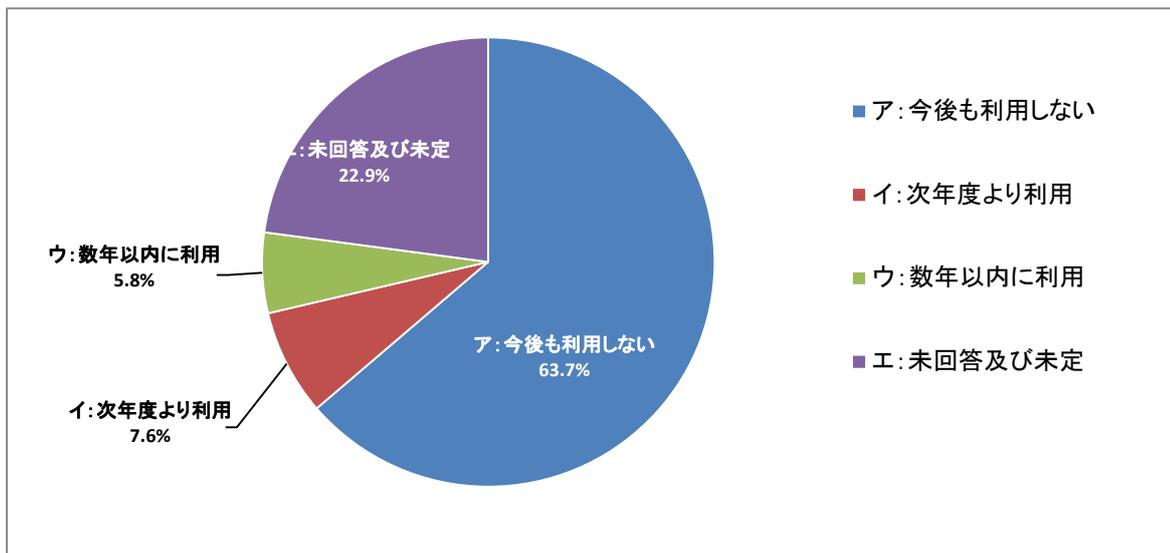
	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	合計	割合
ア:数年間は利用	47	15	53	170	86	2	75	45	493	82.7%
イ:次年度まで利用	1		1	13	12		10	3	40	6.7%
ウ:今後は利用しない	2	1	2	20	14		7	3	49	8.2%
エ:未回答及び未定	2	2	1	7	13		2	2	29	4.9%



□利用なし校における今後の利用予定

(単位:校数)

	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	合計	割合
ア:今後も利用しない	24	52	29	66	78	80	12	10	351	63.1%
イ:次年度より利用	4	1	4	9	6		11	7	42	7.6%
ウ:数年以内に利用		5	2	16	5		3	1	32	5.8%
エ:未回答及び未定	15	13	9	24	35	17	9	4	126	22.7%



(2)設問5(1)の民泊利用校で、今後は「次年度まで利用」または「今後は利用しない」と回答した学校の理由

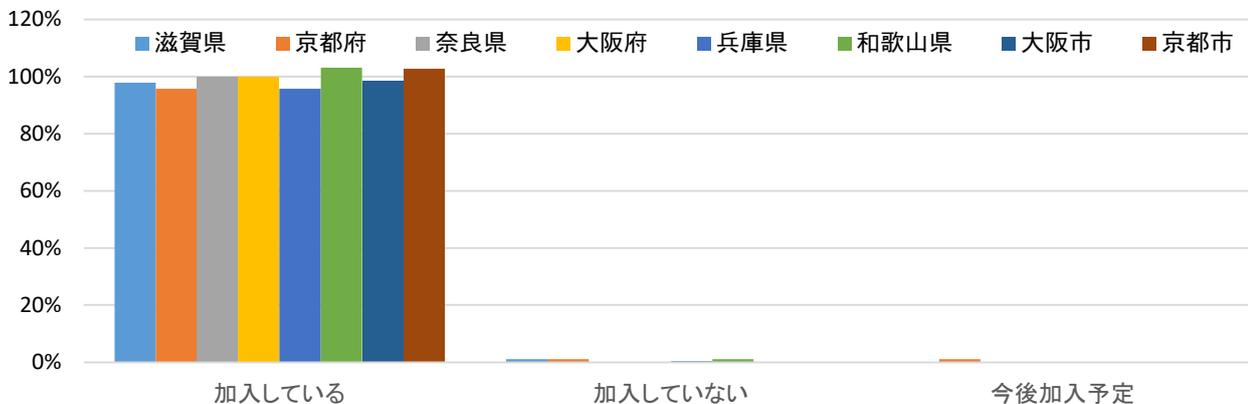
- * 民泊の利用をどちらかという控えたい学校
 - ・市教委よりの通知で利用不可
 - ・不適切な事象が生起していると聞く。市教委も教員が宿泊しない施設に生徒を預けることは不可というガイドラインを作成したため。
 - ・民泊の質の低下が酷い、需要に供給が追いついていない
 - ・民家によって差がある。生徒にとって必ずしも教育旅行として有益化という疑問が生じる。
 - ・生徒指導上及び健康面での対応のため、民泊でのマイナス面が多いため
 - ・疾病などの関係で、民泊が難しい生徒がいる。アレルギーの関係で宿舍の振り分けに苦労した。
 - ・アレルギー生徒が在籍しているため、対応が不安である。
 - ・アレルギー対応等生徒の実態に応じて毎回検討
 - ・食物アレルギー要支援生徒、緊急時の対応に不安を感じるため
 - ・特別支援が必要な生徒が複数名在籍するので、その対応が難しい
 - ・民泊先の差がある。配慮を要する生徒がいるため。何か起きた時には対応が困難であるため。
 - ・特別支援学級生徒への対応のため
 - ・健康面で配慮が必要な生徒が多いため、来年度は民泊は難しいと判断した
 - ・料金も生徒の印象的にも大変満足したが、不測の事態に対して生徒の安全確認が十分に行いにくいいため利用しない。
 - ・安全面・危機対応に不安がある
 - ・具体的に不安を感じている生徒がいるため
 - ・民家のバリアフリー化が進んでいない。緊急時の対応に教員がその場にいらないことへの不安
 - ・基本的には民宿を行うが、車いす生徒などの在席状況で変わる。
 - ・民家により生徒対応が異なるため
 - ・不安に思う保護者がいる。一部学校より抗議した民泊先がある。
 - ・教員の数が分散して手薄になる心配がある。民家によって対応に差があり、緊急時の態勢についても心配な面が考えられる。
 - ・過去に民泊先による対応(食事等)の差があったため
 - ・本校での人数での受け入れ先が限られたり、個々の民泊先での対応が不ぞろいであったりすることから学年毎に考えているため
 - ・費用と方面の関係で利用不能
 - ・学級活動を主としたいため
 - ・小規模校なので必要性を感じない
 - ・連合体輸送で申し込んでいるため
 - ・旅行目的にそぐわないから
 - ・民泊の利用について保護者のアンケートから否定的な意見が目立ったため、また関東方面で実施する意義があまり感じられないため
 - ・民泊の対応に一部の保護者が理解を示さず迷惑をかけるため
 - ・安全面、宿舍の収容人数、立地等気になるため利用予定はない
 - ・生徒管理充実のため
 - ・民泊にすると体験活動や見学等の時間の確保が難しい
 - ・メリットがない
 - ・学校の地域がら三世代で住んでいる家も多く、農業等自然体験も普段からしているので実施しない。
 - ・スキー実習なのでホテルがよい
 - ・首都圏を訪れるため、必要性を感じない
- * 学年裁量や学校としての訪問地の変更による。また、生徒の状況によってその都度検討している等の学校。
 - ・3年毎に目的地を検討している。学年ごとに目的地を変更している。
 - ・民泊の良さと課題点を学校として共有しているので生徒の実態に合わせて検討する。また、生徒指導の状況、実施学年の意向による
 - ・連泊割引を利用し、旅行費用の総額が55,000円を超えないようにするため。
 - ・本校の修学旅行のコンセプトが「平和学習」で、毎年その方面を検討しているため
 - ・学年の裁量により民泊の利用のある年とない年がある。次年度内、再来年度あり、4年に一度の見直しをしている。
 - ・次年度、特別支援学級在籍生徒の状況を考慮して決定しております。それ以後は未定です。
 - ・自然体験プログラムの充実を前提に毎年プレゼンテーションを行い、旅行会社の選定を行うが、学年の意向旅行会社のプランによって民泊かどうか変わる。決して民泊が良くないというわけではない。
 - ・来年度は民泊を利用するが、再来年度は利用しない。それ以降は利用するかどうか未定。
 - ・次年度より目的地を変更し、民泊を含めた計画で実施し反省総括を経て引き続き利用するかどうか決定するため
 - ・民泊に問題があるとは考えていないが、山中湖までくるとより東京で連泊する方が利便性が高い。また悪天候のリスクが高い。
- * 民泊の利用を積極的に考えている学校
 - ・地元との触れ合いを大切にしつつ、本人の希望による様々な普段できない体験を実施できるため
 - ・人々とのふれあい、地域の諸文化にふれることができるよさ。生徒にとって大きな財産となっている。
 - ・地元の人とふれあうことで、農業体験などを通じて、自然を体感できる。また、コミュニケーション力の向上と、その地の文化に直接関わることができるから。
 - ・特にトラブルもなく、異文化を体験することに生徒たちの印象もよい
 - ・沖縄の受け入れ民家との触れ合いを通して沖縄文化を学ぶことができ、生徒の満足度も高い。
 - ・民泊を修学旅行の目的に取り入れている。本校は山間部に位置するため、海辺の漁村の生活との違いや人とのかかわりを学ばせたい。
 - ・特別支援学級在籍生徒の中に民泊が困難な場合があるため。
 - ・農業体験先の農家泊は必要必須の為
 - ・2020年は東京オリンピックの開催年で行き先変更した

6. 修学旅行中の安全対策について

(1) 修学旅行を実施するにあたり旅行保険に加入していますか。

校

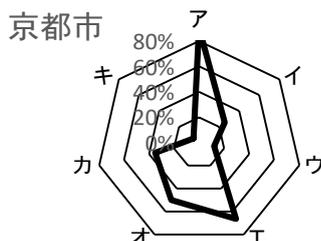
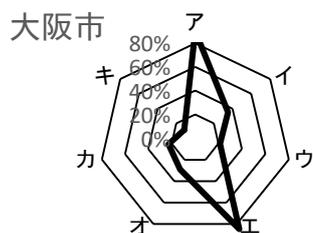
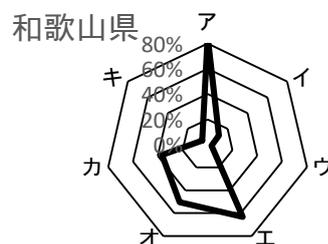
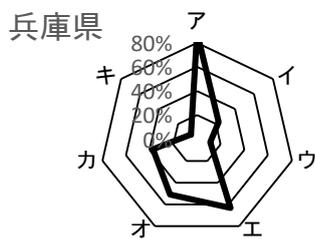
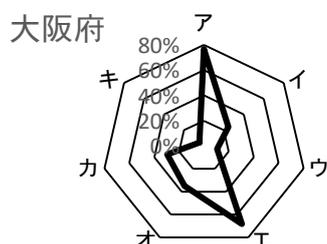
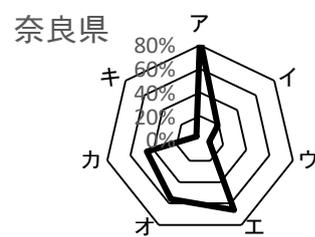
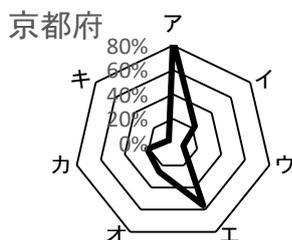
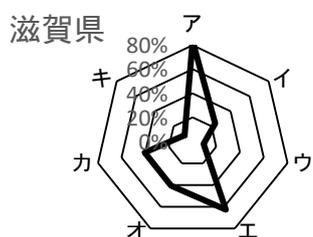
	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	合計	割合
ア 加入している	94	89	100	328	247	98	129	76	1,161	98.8%
イ 加入していない	1	1	0	0	1	1	0	0	4	0.3%
ウ 加入していないが、今後加入予定	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0.1%

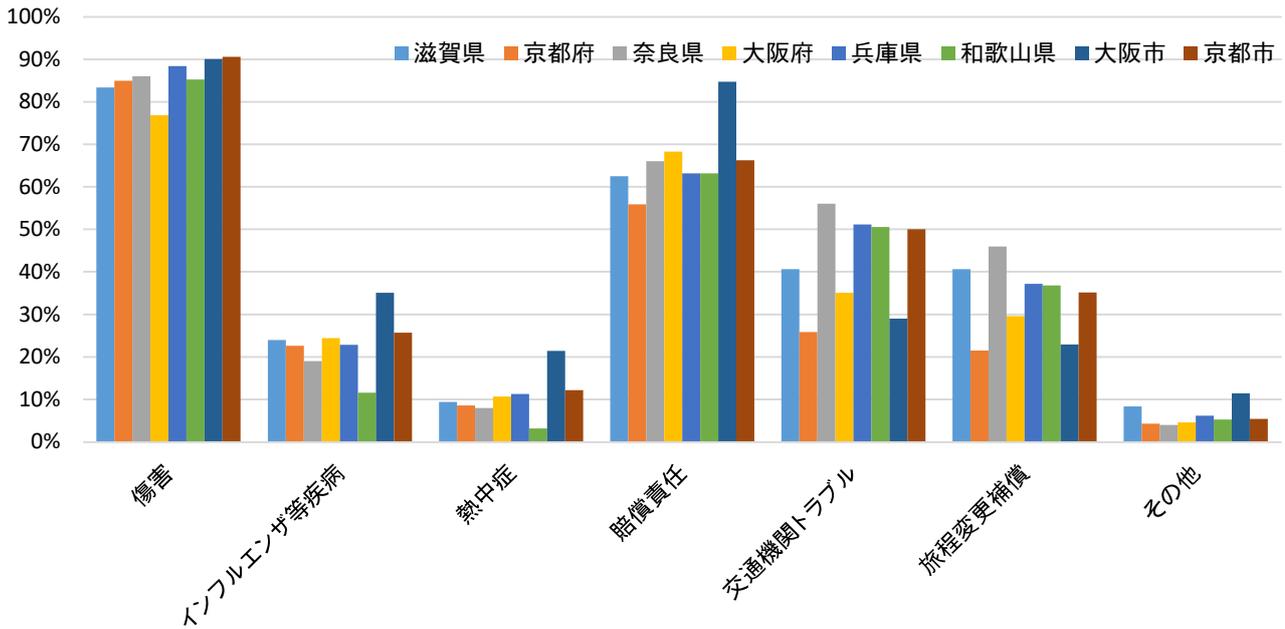


(2) 加入している保険の内容はどのようなものですか。(複数回答)

校

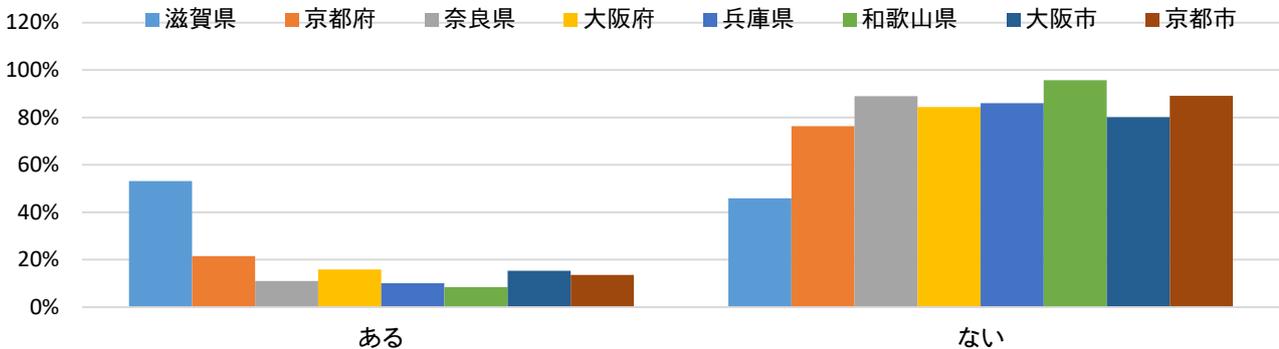
	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	合計	割合
ア 傷害	80	79	86	252	228	81	118	67	991	84.3%
イ インフルエンザ等疾病	23	21	19	80	59	11	46	19	278	23.7%
ウ 熱中症	9	8	8	35	29	3	28	9	129	11.0%
エ 賠償責任	60	52	66	224	163	60	111	49	785	66.8%
オ 交通機関トラブル	39	24	56	115	132	48	38	37	489	41.6%
カ 旅程変更補償	39	20	46	97	96	35	30	26	389	33.1%
キ その他	8	4	4	15	16	5	15	4	71	6.0%





(3) これまでに実際に保険の対象となったことはありますか。

	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	合計	割合
ア ある	51	20	11	52	26	8	20	10	198	16.9%
イ ない	44	71	89	277	222	91	105	66	965	82.1%



(4) 「ア:ある」と回答した学校にお尋ねします。具体的にどのような事象が対象となりましたか。

- ・ アナフィラキシーにより長崎医療センターで一泊した生徒について、旅程変更分の交通費と迎えに来た保護者の交通費などに保険適用
- ・ 傷害や疾病の為病院で治療した。インフルエンザ等の疾病のため、保護者に迎えに来てもらう交通費
- ・ ホテルで火傷をしたとき、傷害保険を利用した
- ・ インフルエンザ発症により、病院の治療費と往復の交通費
- ・ 疾病時における、保護者引き取りの交通費
- ・ 生徒の疾病による宿泊先変更、職員の傷害に関わる通院費
- ・ 見学中に転倒し、足首をねんざした。→通院・治療・松葉杖のレンタル
- ・ 釣り体験中に釣り針が指に刺さり、病院で治療を受けた
- ・ 修学旅行の現地で、インフルエンザに罹患したため、別の部屋を用意したり、通院時のタクシー利用、復路の空港からの学校までのタクシー利用
- ・ 体験活動中のけがで補償
- ・ 生徒疾病の為帰宅し、保護者の迎えの交通費
- ・ マウンテンバイクで転倒、ケガの補償
- ・ お風呂で転倒し、けがをした時の治療費

- ・サイクリング中に転倒しケガを負った際に、補償していただきました。
- ・民泊先の家庭の飼い犬に生徒が噛まれる。
- ・病気になって入院した生徒の両親の交通費
- ・病気で夜中に大阪までタクシーで帰宅。タクシー代金。
- ・生徒の疾病で、公共個通機関で帰宅した。その際の交通費の補償
- ・民泊活動中の体験で、体育館でスポーツをしているときに滑って転倒し、右腕上腕を打つ。翌日の選択体験の前に痛みを訴えてきたため病院に連れて行き、打撲と診断される。
- ・修学旅行中に、別の生徒が持っていた木の棒に前歯が接触して折れる。
- ・集団食中毒
- ・引率している教員が足を滑らせて骨折をした際の補償
- ・体験活動中にケガをして教員の引率でタクシーで帰阪。
- ・サイクリング活動中の休憩場所において、2名の生徒がケガをしたため、病院へ搬送し、治療を受けたこと。
- ・急病者が出たために保護者が生徒を迎えに来る際の有料道路代、宿泊代。
- ・おたふくかぜに罹患、治療費、宿泊費用の対象に
- ・ケガ疾病治療費、保護者迎えの交通費
- ・インフルエンザ発症で帰る交通費、食中毒になった際の治療費
- ・スキー実習中のけが
- ・生徒が体調を崩し、民泊先ではなく本部のホテルに宿泊した。その際、両方の宿泊料金が発生した。
- ・インフルエンザ発症の為、帰宅する交通費(タクシー代)
- ・宿泊施設のふすまを破損、扇風機の破損、風呂にシャンプーを流し、風呂を破損等の修理費・補償費
- ・班別行動中、高齢者と生徒がぶつかり高齢者が転倒し足にけがをそた補償
- ・食物アレルギーを申告していたにもかかわらず、宿舍のミスでアレルギー症状を発症した生徒がいた。その治療費等の補償
- ・体調不良で生徒離団1名、生徒、引率教員1名の帰路の旅費
- ・修学旅行中、高熱を出した。ホテルから病院までの交通費
- ・アナフラキシーショックによる入院
- ・眼病、コンタクトレンズが外れなかった
- ・帰路直前に生徒が発熱し生徒本人と引率教員が現地に残り病院で受診後、翌日の飛行機で帰ってきた。移動費、宿泊費が保険の対象であった
- ・生徒が感染症に罹患し、本体から離れてホテルに滞在した。保護者が現地にきて回復まで付添った時の費用補償
- ・食物アレルギーの為入院した生徒を保護者が迎えにきた際の保護者生徒引率教員の交通費
- ・公共物破損
- ・飛行機内での発作により病院へ搬送
- ・借り上げバスの破損
- ・宿泊施設での器物損壊、体験活動中の物品破損
- ・1日目のホテルの部屋にて、男子生徒がはしゃいでベッドの上で飛び跳ねていたところ、勢い余って足で壁を破損させてしまった。
- ・ホテルのカーテン損傷補償
- ・宿泊施設の破損補償
- ・宿舍のベッド(スプリング)を破損したため、保険を使用した。
- ・交通機関トラブル
- ・東京駅新幹線発車場掲示板損傷
- ・ホテル備品破損補償
- ・宿舍のガラス破損やシーツを汚した等の補償
- ・土産物店で商品を落下させて破損した補償
- ・シャワー出っぱなしで、フロアまで水があふれた際の弁償費用

- ・生徒がホテルの部屋でテレビのリモコンを渡そうと投げたところ、テレビの画面の液晶にあたり破損した。その修理代
- ・会館内を移動の際に誤って階段途中で転倒し、壁を破損した。その補償
- ・羽田空港でのトラブルが伊丹空港に影響し、伊丹到着が大幅に遅れた。
- ・台風によるJRへの振替。飛行機が欠航となりJRに変更した。
- ・旅程変更補償
- ・羽田空港航空機火災の為空港閉鎖したため、新幹線に代替費用
- ・帰りの飛行機の搭乗の際、生徒が発作を起こし、生徒と付き添いの教諭が後の便で帰校した際の料金補償
- ・台風接近のため帰りの飛行機が欠航になり、一日延泊になった費用
- ・疾病の為帰路バスのところJRで帰宅、その交通費補償

(5) 「イ:ない」と回答した学校にお尋ねします。補償対象にならなかったものの、出来れば補償してもらいたかった事柄がありましたらお書きください。

- ・病院への生徒搬送のための交通費(タクシー代)及び治療費
- ・体調不良者の搬送に利用したタクシー料金
- ・救急搬送の後に戻ってくるタクシー代金
- ・インフルエンザで本隊と別行動となった時のタクシー移動代金など
- ・病気になり、急遽別行動をとらざるを得なくなり、その交通費を補償してもらえたらありがたい。
- ・修学旅行全体から離れて行動した時の交通費補償。
- ・途中でやむを得ず帰宅するときの交通費。
- ・インフルエンザ発症で途中で帰宅するときの交通費。
- ・持病を持つ生徒が修学旅行中に発症した時の保護者の送迎費用。
- ・持病ある生徒が現地で発症した場合の病院までの交通費を補償してもらいたい。
- ・旅行途中から病院までのタクシー料金と保護者が迎えに来た時の生徒と保護者の旅費。
- ・生徒が急な体調不良で乗車予定の新幹線に乗れず、結果、別途交通費を生徒分と教員の交通費の両方を支払った。こういう場合の費用が補填されるといいと思う。
- ・交通事故渋滞により、半数が帰路新幹線に乗れず、新大阪から学校への送迎バスを追加したが補償対象にならなかった。
- ・現地でインフルエンザ発症をし、迎えに来てくれた保護者の交通費を保険で対応してほしい。
- ・体調不良で別行動になった生徒を他の生徒同じバスに乗せると感染の心配があるため、タクシー等を利用できれば
- ・帰路生徒が急病を発症し、団体行動のバスに乗れなかった。この場合の交通費が補償の対象にならなかった。
- ・修学旅行後に食中毒を発症した。最終日に食べたものが原因と思われるが対象とならなかった。
- ・旅行先で入院した生徒が1名いた。職員が2名残り対応する必要があった。しかし残った職員の宿泊費等は県の規定では1名分しかでなかった。あと1名分をできれば補償してほしい。
- ・帰京後の受診で明らかになった疾病。修学旅行の最終日に腹痛・下痢と発熱を訴え、京都に帰ってから受診した。その後1週間下痢が止まらず再受診した際、カンピロバクター菌が検出された。医師から「修学旅行での食事が原因ではないか」と言われた。ところが、現地で受診しなければ補償対象にならない保険であった
- ・体調が悪くなり、現地の病院へ通院したが、疾病は補償対象でないと断られた。
- ・保険の額にもよるが、生徒がスリなど盗難にあった場合の補償
- ・天災等による旅程変更補償(延泊も含む)、個人の急なキャンセル補償、旅程変更(特に宿舍変更)補償
- ・民泊に宿泊予定の生徒が、教員の宿泊ホテルの宿泊した際の宿泊代金
- ・熱中症対策、インフルエンザ等疾病の保険
- ・傷害に関する保険
- ・交通トラブルで演劇の鑑賞時間が大幅に短縮された。高い入場チケットを購入したが、半分以上見られなかった。この場合の補償

- ・ 荒天時における体験活動キャンセルの補償
- ・ 引率教員の紛失、破損の補償(衣服、カメラ)
- ・ 加害者が特定できない賠償責任
- ・ 同行カメラマンから借用したカメラの破損費用
- ・ 生徒の持ち物についての補償
- ・ バスのトランクルームから生徒のスーツケースを取り出す際、スーツケースの取っ手部分が破損したが、補償してもらえなかった。
- ・ マリンスポーツ体験が雷注意報で途中で中止となったときの体験費用。
- ・ レンタルしていたデジタルカメラを紛失し弁済費用が発生した。
- ・ 事前の活動予定が、フライトの関係で極端に制限されたことの補償。
- ・ 飛行機の離陸が2時間遅れた。その後の行程(旅程変更補償)にも影響がでた。
- ・ 旅程変更補償や万が一に備えて賠償責任保険も考えるが生徒数が少ない中で旅行費用を押さえるためには加入は難しい。

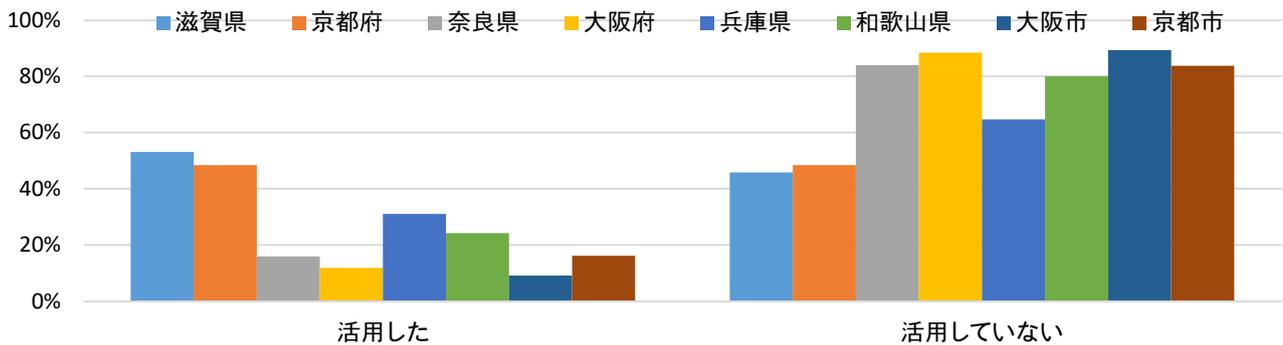
(6) 現在ある保険が補償対象としている項目以外にも、是非、補償対象にしてほしい事柄がありましたらお書きください。

- ・ 不登校生のキャンセル代
- ・ 直前のキャンセル補償、不登校が増えている中、早い段階で参加不参加を決断しなければならない。
- ・ 家庭の都合による直前のキャンセル
- ・ 致し方ない理由の急なキャンセルへの対応
- ・ キャンセルをした場合のキャンセル料補償(生徒の体調や悪天候等)
特別支援学級の生徒1名が参加予定であったが、当日までにキャンセルの可能性があった。その場合、特別支援学級担任もキャンセルで学校に残る方向で考えていた。このような場合のキャンセル料が補償対象となっていなかった。
- ・ 旅程変更(特に宿舍変更)補償
- ・ 出停、疾病等によるキャンセル補償
- ・ 旅程変更の期間延長
- ・ 体験活動のラフティングの急なキャンセルの対応ができないことは課題と考える
- ・ 自然災害等やむを得ない事情で、出発前に宿舍・日程などを変更せざるを得ない時の、キャンセル料
- ・ 急な警報発令により実施できなかったプログラムや交通費のキャンセル料の補償
- ・ 生徒の病気などで日程変更に伴う教員の交通費と宿泊費
- ・ 現地での医療機関への送迎費用、何等かに対応に係るすべての交通費
- ・ 生徒に起因することで、各方面に連絡する時の費用や保護者に対する通信費、送迎費用
- ・ 体調不良時に帰宅する際の生徒、教員、保護者の交通費の補償
- ・ 現地での非常時の交通費(タクシー代)
- ・ インフルエンザ等の対応で、別室を利用した際のホテル滞在費用
- ・ 体験活動中のけがにより、医療機関への移動に係る交通費の補償が必要であると感じる
- ・ インフルエンザの診断をするため受診し、結果インフルエンザでなかった場合の交通費が受領できるもの
- ・ インフルエンザ等疾病、熱中症対策保険
- ・ 借用物品の破損補償や器物損壊、物損補償
- ・ 食中毒があった時の補償と突然のキャンセル代を低価格の保険代で補償できるもの。
- ・ 生徒の様子によっては、器物破損に対する補償も必要ではないかと考えております。
- ・ 忘れ物の送料
- ・ 旅行先での災害・自然災害等についての補償
- ・ タブレット端末を活動で使用した際に、不慮の事故で破損した場合の免責。
- ・ 旅行中にケガや病気で生徒をタクシー搬送する際のタクシー代
- ・ 交通機関トラブル

- ・ 民泊宿泊時に地震で倒壊し、怪我を負った時など民泊特有の場合に即した保険はあるのでしょうか。
- ・ 現在加入している保険が傷害の対象で、病気については対象外である。理由は保険料があがるためであるが、出来れば同等の保険料で「病気も対象になる保険があればありがたい。
- ・ 健康保険、スポーツ振興センター、旅行会社がかけている保険などもあるので、こういった場合が補償対象にならないのか、補償されるならその額はどれくらいかを明確にした上で今後のことを考えたい。

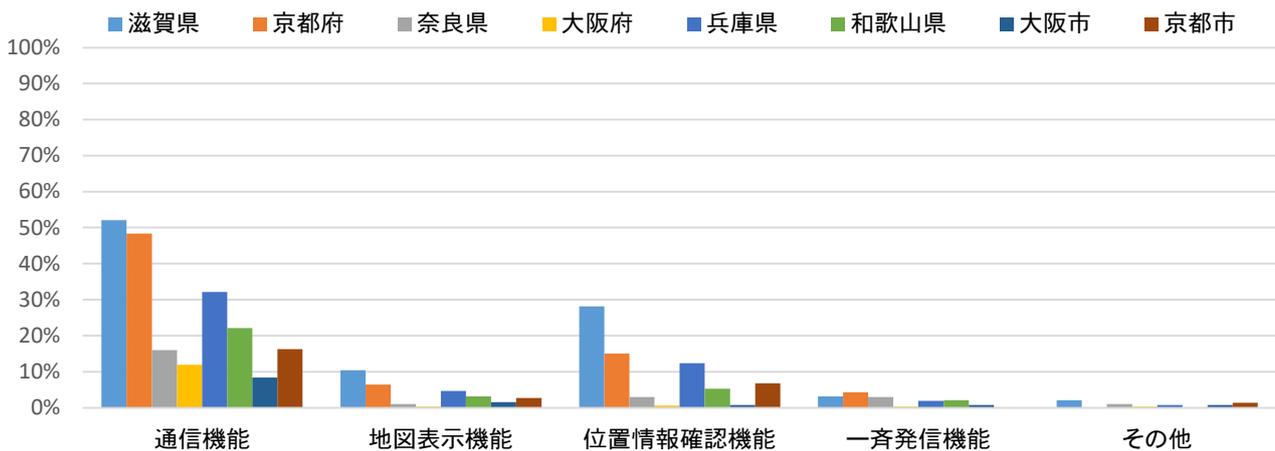
(7) 生徒の班またはグループ別行動中の安全確認のための情報端末(携帯電話等を含む)を活用していますか?

	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	合計	割合
ア 活用した	51	45	16	39	80	23	12	12	278	21.0%
イ 活用していない	44	45	84	290	167	76	117	62	885	66.9%



(7) - 2 「ア:活用した」と回答した学校にお尋ねします。その利用機能はどのようなものですか。(複数回答)

	滋賀県	京都府	奈良県	大阪府	兵庫県	和歌山県	大阪市	京都市	合計	割合
ア 通信機能	50	45	16	39	83	21	11	12	277	23.6%
イ 地図表示機能	10	6	1	1	12	3	2	2	37	3.1%
ウ 位置情報確認機能	27	14	3	2	32	5	1	5	89	7.6%
エ 一斉発信機能	3	4	3	1	5	2	1	0	19	1.6%
オ その他	2	0	1	1	2	0	1	1	8	0.7%



7.本年度の修学旅行について、他校に紹介したい活動や取組、反省点、関係機関への要望等(自由記述)

①交通機関に関して

- ・ 関西空港発着の航空機利用であったため、出発時刻がとて早く(学校集合:5:30)、到着時刻がとて遅くなった(学校到着:21:50)。そこで、帰りは保護者に学校へ生徒を引き取りに来ていただいた。
- ・ 航空機利用で行きが遅い時間で、帰りが早い時間の出発で、もう少し時間を考えてほしい。
- ・ 航空機を利用すると、学校の希望通りの時間に搭乗できないので、調整できればありがたい。
- ・ 航空機の便が伊丹空港発が取れなかったため、集合時間がものすごく早くなった。
- ・ 航空機利用の為、帰途帰着時間が不明確である。
- ・ 沖縄を選ぶにあたっては空港までの所要時間も考えていただきたい。遠方よりの無理な航空機利用は混雑を招きます。帰路の飛行機の時間帯が早く(11時)最終日の旅程を充実させることができなかつた。保護者からの苦情や問い合わせは特になかつたが、疑問に感じておられる方々もたくさんおられると思う。予約段階で早い時間帯での飛行機か、2便に分かれて夜遅く到着かの選択肢しかなく、夜遅く2便に分かれるのは安全上難しいと考えやむなくの選択であった。修学旅行を充実させるために適切な時間帯での航空路の確保が必要と感じる。
- ・ 飛行機の離陸が2時間遅れ、待合室で過ごした。その後の行程にも影響がでた。
- ・ 航空機利用の際、発着便が選べない。遅く出発して早く到着する便では活動時間が確保できない。本年度は何とか調整できたが、来年度は調整できないので日程をずらした。
- ・ 航空機の時刻により、行程が変更になることがある
- ・ 飛行機の大阪から沖縄便の時間が限定されていて、空港から遠い学校は朝早く(5時20分集合)となり、大変厳しい状況である。幅をもった運航をお願いしたい。
- ・ 飛行機会社の都合で、フライト便の時間が希望通りにいかない。3日目の便が正午那覇空港発であったので、3日目の活動がほとんどとれなかつた。
- ・ 飛行機の予約の関係で当初の日程を変更し保護者にも連絡しなければならなかつたことが残念である。

沖縄への航空機の時刻について思いを書きます。沖縄への航空機の時刻は、ANAなら、ほとんどが伊丹発11:00と那覇発14:00がセットになっています。旅行会社に確認すると伊丹発11:00と那覇発14:00が同じ機材なのでそのようになる事が多いそうです。ただ、伊丹発11:00と那覇発14:00がセットになると沖縄での滞在が実質2日間になってしまう活動内容が窮屈になってしまいます。ですから航空機の時刻設定をもう少し柔軟にさせていただきたいと各航空会社には願います。

- ・ 本校の場合、大人数での移動となるので時間的に余裕をもった計画を立て実施した。その甲斐あって、出発から現地での活動まで予定通りに進めることができた。ただ、帰りの空港で荷物受けに時間がかかり、解散時刻が予定より遅れてしまった。この点については、昨年度からの課題でもあり、事前に旅行会社を通じて航空会社へ要望をあげていた。今後とも検討していきたい。
- ・ 紀南地方からだると関空は遠いので、白浜空港を利用したいが運賃料金が高くで難しい。関空にしても別途施設利用料が必要となるので、修学旅行での使用については免除してもらえるようにならないものかと思う。学校としてはできるだけ旅行費用を押さえたい。
- ・ 2年前の旅行会社決定時には、無かつた空港利用料(伊丹空港520円・那覇空港240円)が急遽発生し、追加徴収を実施した。
- ・ 沖縄県への修学旅行が増加している中、飛行機の便数や予約が飽和状態であると思う。時期も重なり大変だと思うが一考いただきたい。
- ・ バス代が高くなっていることが困る。
- ・ バス代が安くなると様々な活動へのお金にゆとりができるので安くならないか。
- ・ バスとタクシーの接触事故が都内で発生し、けが人は出なかつたものの行程に大きな変更が生じた。
- ・ バス料金が高騰する中、バスを利用せざるを得ないのが苦しい。
- ・ バス代が高いので、学級を解体してできるだけ台数を減らした。
- ・ 沖縄県でのバス乗車の際、おそらくドライバーがダクトを閉じていないため、大雨の中で天井の通風孔から大量の水が流れ込み、生徒の衣服が濡れたが、バス会社等はすぐに何らかの対応をしなかつた。
- ・ 帰りの新幹線が西明石に停車しない。姫路駅で乗り換えるが、狭いホームを歩いて荷物がかかなりある中、最後尾から最前の車両への移動は大変である。西明石に停車しないならせめて少しの移動で乗れるようにご配慮願いたい。
- ・ 車いすで移動をしなければならない生徒がいたが、新幹線乗車時、列車内の多目的室を往復とも利用することができ、移動に際する生徒の疲れを軽減できた。(多目的室のシートは簡易ベッドになり、体を横にすることができた。)バスもユニバーサルデザイン車両を利用することができ、車いすのままリフトでバスにスムーズに乗降することができた。修学旅行に際し、身体的に配慮が必要な生徒に対して、どのような設備が整えられているのかを知識として知っておくことは非常に大切であると実感した。

②宿泊機関に関して(民泊を含む)

- ・ 学校での平和学習の深化を図ることができた。民泊を通して人とのつながりの大切さを体感できた。
- ・ 伊豆高原のペンションは生徒に好評。

- 2泊とも民泊であったが、大きなトラブルもなく、民家さんとの交流が深められて非常に良い経験となった。平和学習を掲げて
- ・ いったものの、もっと深い学びをしてから、行かせるべきであった。民家の方々の平和に対する思いを現地で感じることが出来た。
- ・ 長崎県松浦市の民泊は、とても人情味ある民泊で紹介できるところである。
- 今回の修学旅行は民泊の2連泊でしたが、民泊を取り仕切る業者や民泊先の方からは1泊ではなく2泊してもらう方が生徒との
- ・ 交流や本来目的としている人の温かさや沖縄の文化などが伝えやすくてありがたいと聞きました。今回生徒たちも沖縄を満喫し、十分満足して帰ってきました。
- ・ ペンション分宿はとても良い。オーナーの経験の差などがあるがとても丁寧な対応である。
- ・ 民泊先の方々の対応がとても親切で、大変良かったと聞いています。
- ・ 食中毒が発生して、安全確認のために延期となったが、利用したホテルの対応が素晴らしく、職員・生徒とも大変満足できる修学旅行であったと思う。
- ・ 民泊体験を通して、初対面の人々との接し方を学び、民泊先の家族の方々と触れ合う中で家族の温かさなど体験できた。また、その活動の中で大自然を満喫できた。
- ・ 民泊に大きな意義を感じる
- ・ 長崎県五島市の民泊は、島民の方がの温かみもあり、人生の中でも貴重な体験活動ができるものであった。
- ・ 本年度今帰仁村で民泊を実施した。下見から本番実施、旅行後の対応について素晴らしかった。
- 修学旅行前週に宿泊予定であったホテルにて食中毒の可能性があり営業を見合わせるハプニングがあった。保護者説明会を開き、ホテルからの説明、謝罪、旅行会社から今後の対応策としてのプランを示した。その後食中毒が確定しホテルが営業停止になったため、予定通り分宿に切り替え、夜のレクリエーション会場においても地元の協力を経て体育館を借りることができ、修学旅行の内容は変えずに実施できた。保護者からのクレームも実施前、実施後もなかった。
- 今年度の修学旅行は、現地の天候不良のため、2日目に予定していた民泊が実施できず、急遽ホテル宿泊になったり、3日目のお土産購入のための散策場所も変更になるなど、当初の計画どおりにはいかず、現地での対応に苦慮しました。そんな中で、業者の方には、ホテルの手配をしていただくなど、よく動いていただきました。
- ・ 民泊での活動については限られた時間ではあるが、民泊先の方々との触れ合い等を通して学ばせていただくところが多くあり貴重な体験となった。
- ・ 民泊先で生徒の個人情報が出た。関係機関には指導の徹底を願いたい。
- ・ 民泊は責任の所在があいまいになるので安心して利用できない。
- ・ 民泊で個人情報を書かれたペーパーを生徒に見せる事案が発生した。民泊はアレルギーや情報管理についてガードが甘い点は否めない。
- ・ 今年初めて民泊での連泊を行ったが、教育的効果から鑑みて、次年度から民泊での連泊は行わない。
- 民泊の力の生徒への対応か、自分の子供、孫のように接し（もらつたの）じよかつた。事前に他校と連絡を取り合つ（いた）のじ、
- ・ 学校間トラブルがなかった。今回、体調が悪い生徒の為に修学旅行期間中、保護者が近くに常についてもらえてよかったが、それができない場合、生徒の参加が難しい
- ・ 沖縄の民泊においては、場所によって対応の差が大きいように感じる。選定時において、日程で決めるのか場所で決めるのか迷う。
- ・ 民泊の運営会社(沖縄県)が契約下見の時点で、「ゆとりをもって生徒を受け入れるため、受け入れ前後2日間は他校を受け入れない」としていたが、実際は前日まで他校生を受け入れている民家があった。
- ・ 宿泊地での取り組み内容は、旅行会社、地元観光協会等、および各宿泊民宿で統一した対応の周知を希望する。
- ・ 民泊体験中の生徒の緊急時に直接連絡を取る手段を考慮しておくべきであった。(一般的には民泊先を通しての対応になるが、そのルートが使えないケースもあるため。)
- ・ 民泊の連泊が話題になっているが、本校では事前事後の学習との連動も図れており、今後も継続していきたいと考えている。
- ・ *今年度始めて民泊を経験したが、引率教職員の負担軽減という視点では非常に効果的だと感じた。連泊に批判的な意見もあるようだが、働き方改革の視点からも、プログラムの工夫などで連泊を推奨していく方向性が良いのではないかと感じた。
- ・ *引率教職員の飲酒の問題を耳にしたが、勤務時間の割り振り変更は6時間までであり、理屈から言えば、それを超えた時間は勤務ではないということになり、飲酒を禁止するのであれば、引率している時間すべて(24時間)を勤務時間ととらえるようにした方がすっきりするのではな
- ・ 今回民泊を利用したが、対応の悪い民家があり、悲しい思いをした生徒がいた。民家により内容に差が出るのは当然だが、生徒が満足するレベルを維持してほしい。
- ・ 本年度、民泊連泊を行ったが、体育館や集会所など、一堂に会する場を確保し、レクリエーション等の時間を設定したかった。
- ・ 民泊先で十分な体験が行われないなど、不適切な対応の民泊先が見られた。
- ・ 1泊目のホテルの夕食がバイキング形式であったが、そのためか食物アレルギーのある生徒に対する姿勢が多少不誠実に感じられ、同じホテルでノロウイルスによる食中毒も発生した。
- ・ 民泊が広範囲にあるため、十分に訪問できなかった。
- ・ もう少し少人数で民泊を受け入れてもらえたら、もっと活動的にできたかもしれない。民泊の時間が短かった。

- ・ 民泊が始まった当初に比べ、素朴さが薄れ商業化してきている気がする。民家さんたちもたくさん受け入れ経験を積むことで、生徒目線でない民家さんも増えてきているように思う。
- ・ 沖縄での民泊のプログラムについて、各家庭に任されているというものの文化体験やおじいおばあ戦争体験など沖縄の家庭ならではのプログラムを準備してほしい。
- ・ 一般客がいるからとエレベーター利用不可となったが、3階以上を大きな荷物をもって階段を昇降するのは転倒、将棋倒し等の危険があることを宿舎に告げても一般客優先との回答であった。
- ・ 民泊の家庭の差が大きい。トイレの戸が閉まらない、鍵がない、食事かどこにもある冷凍食品だったという生徒の感想があった。
- ・ 地元の暮らしをふれる体験するという目的なので、普段の生活のままであるが、一方で宿泊費を支払う宿泊施設であるならば、もう
- ・ 教職員の宿泊施設の整備が未完成な状態での使用になって不便さを感じた。
- ・ 旅館がかなり古かった。せっかくの修学旅行なので、事前にもっときれいな旅館を把握すべきであった。
- ・ 食事面の充実(質と量)をお願いしたい

③体験学習・見学機関に関して

- ・ 単なる観光旅行にならないように見学地や課題の設定が大切である。
- ・ 隅田区役所オールでの朗読劇の鑑賞は大変よかったです。第二次世界大戦時の東京大空襲を題材にしたもので平和学習として活用できます。
- ・ 社会見学を充実させることができた。取扱業者が学校の学習ニーズを理解して適切な提案があったので助けられた。
- ・ 企業訪問で各企業が中学生対象の説明マニュアルの準備ができて、学習効果があった。東京証券取引所も中学生に株式のことをわかりやすく説明してもらった。大学訪問はガイドがなく得るものが少なかった。
- ・ NPO法人である学校サポートセンターの仲介で、14グループに分かれて企業訪問を行った。どの企業にも良くしていただき、生徒にとっては貴重な経験になりました。
- ・ 東京学生エスコートという東京の大学生が班別行動についてくれるという活動をお願いした。事前学習からしっかりとメール等でもやり取りして頂き、安全に当日も同行してくれた。
- ・ 長崎大学RECNA(核兵器廃絶研究センター)を訪問し、世界の現状や核兵器廃絶に向けた取り組みに関する講義を聞いたのが有意義であった。
- ・ 糸数壕アプチラガ見学は、惨状現場での臨場感あるガイドが魅力的ではあるが、それゆえ気分の悪くなる生徒が数名でたので、生徒の状況を見て選択することが望ましいと思われる。
- ・ 参議院体験プログラムは毎年利用しているが、政治が身近なものに感じられ主権者教育として有効だと思う。
- ・ 浅草寺境内での外国人への英語インタビューを企画したが、境内では禁止と注意を受けた。事前の確認が必要であった。雷門ではできた。浅草の食品サンプル作りなど、手作り体験は大変良い。
- ・ 企業訪問・大学先での中学生からのプレゼンテーション、東京とリモートオフィスを結ぶTV会議
- ・ 大崎上島町での民泊体験4年目を迎えたが、毎年非常に暖かく迎え入れていただき、生徒も非常に満足していた。普段大阪で味わうことのできない非日常的な体験を通して思い出に残るものとなったと思う。広島市の平和資料館はリニューアルされ、視覚的に訴えるものが多く、生徒も一生懸命見ていた。
- ・ 本年度、東京グローバルゲートウェイを利用した。次年度も日程に組み入れても良いと考えてる。
- ・ サイクリング活動及びびラフティング活動中の安全管理の面で不安を感じた。(旅行会社にも報告済み)
- ・ しまなみ海道でのサイクリングは非常によかった。
- ・ * 四国方面に関しては、体験活動は豊富だが平和学習等が十分ではないのが少し残念。
- ・ * 旅費の限度額により制限があるため、現地の大学に協力してもらい、様々なキャリア教育ができないか模索中である。この件が可能となれば、大阪の大学を1年～2年で見学するなど事前学習を充実させ学力向上・進路学習に繋げたい。
- ・ 農村の体験は大変心に残る経験となったようで、感想文に大多数の生徒が書いていた。
- ・ 近畿地方を目的地としたため移動時間が少なくなったため、活動時間を十分確保することができた。
- ・ 地元中学校との文化交流
- ・ 離島に渡る経験はとても良い体験でした。
- ・ 民泊にできるだけ長い滞在の利用を考えている。満蒙開拓記念館は次年度拡張され、余裕のある活動ができる。
- ・ 平和学習でガマに入ったが、やはり本物の持つ力は大きい。
- ・ 大阪から長野方面への移動時間が長いため、次年度から四国方面へ変更する。移動時間が短縮され民泊体験やアクティビティ体験等が同体験できるので。
- ・ 平和学習の為、広島方面へ変更
- ・ 壱岐市の修学旅行は良かった。自然環境・非日常感・補助金制度

- ・ 全行程バスであったので、乗り物酔いする生徒には辛かったようです。体験学習のEXアドベンチャーはインストラクターが高い能力を持っていて楽しく取り組みました。
- ・ 今回天候が良くなく、野外での体験活動があまり行えなかったため、その家によって体験活動の内容が異なり、一部の生徒から不満の声があった。
- ・ 「ルミネtheよしもと」の鑑賞はよかった。
- ・ ハウステンボス内のレストラン等ミールクーポンで自由に食事をさせる際のアレルゲンの表示を資料として初めからもらいたかった。ハウステンボスは肢体不自由の生徒には移動がしづらい。園内タクシーを安価で乗れるようにしてほしい。
- ・ 体験活動を初日に実施、その夜はペンション分宿したので生徒はしっかり休養、睡眠をとれたみたいで体調不良を訴える生徒は出なかった。
- ・ 2020年東京オリンピックパラリンピックが開催されることから、東京都人権プラザを訪れた。講義とポッチャ体験ができ、よい勉強になった。
- ・ 被爆体験、戦争体験者にお話しを直接してもらえる機会はどんどん減っているので、出来るうちにしてもらった方がよい。
- ・ 沖縄方面で3日間とも天候に恵まれ大変有意義であった。特に平和学習ではガンマ体験や語り部による講話は、生徒の心に強く響いた。
- ・ 班別学習した当日、班ごとに撮影した写真をスクリーンに映し出しながら体験発表会を行った。他班の発表内容から感動や気づきを現地でも共有し、翌日からの平和学習につなげた。
- ・ 今後端末を利用した班行動を取り入れたい。毎年、ディズニーリゾートを利用するが、ファストパス取得はスマホが主流ということがある。
- ・ 2日目に5班で班別行動を実施。各班に教員が付き、旅行会社幹旋のガイドによりスムーズな体験をした。
- ・ 初めての修学旅行引率であったが、職員が良く計画をうまくたてており充実した旅行であった。中でも地元の小中学生によるエイサー鑑賞はとてども迫力があり、生徒たちも大喜びでした。
- ・ 平成29年度から港区立赤坂中学校との交流をしている。今年度は当校の様子、学校行事、校区内の文化財等の写真をプロジェクターで紹介したりクイズ大会等での交流を実施した。

④旅行会社に関して

- ・ 入札時に提示された上限が守られなかった。(体験活動費や交通費に関する変更での費用確認をしっかりとやらなければならなかった。)
 - ・ 小規模校であるため旅行会社選定会議に参加する会社が少ない
 - ・ 旅行会社の対応が酷かった。(添乗とは何かが理解できていない)
 - ・ <反省点>
 - ・ * 旅行会社の変更や旅行先の変更などがあり、沖縄に決定するのが遅れ、飛行機の予約が遅れた。そのため、初日の出発は遅く、最終日の帰宅は早くというように、沖縄に滞在する時間が最も短い旅行行程になってしまった。
 - ・ * 不参加生徒が大変多い修学旅行となった。ほとんどが生徒個人の問題であったが、旅行プランに対して信頼が得られなかったことによる不参加もあり、旅行先や旅行プランの決定については、保護者も交えて決定していく必要性を感じた。
 - ・ <旅行会社への要望>
 - ・ * レクリエーションとして民謡ライブを依頼していたが、会場が急遽室内から野外(プールサイド)に変更になり、安全面で不安が残るなかでの実施となった。
 - ・ * 教員はホテル連泊であったが、2日目の11:00～15:00の間、ホテルの部屋を利用することができず、ロビーでの待機となった。
 - ・ 小さな学校は全体費用が少ないため、旅行会社はあまりやりたがらない。民間の会社なので利益の少ないことはやりたくないのも理解できるが、大きな学校と同じように扱ってもらいたい。
 - ・ 旅行会社は直前の検討時点で、行程について具体的なアドバイスをしてほしい。(直前に変更のアドバイスがあっても学校側としたり困難な場面がある。)また、旅行会社の学校の担当者が、修学旅行に参加しなかった。
 - ・ アレルギー対応をより細かく対応してほしい。旅行会社選定のプレゼンが年々早くなっていて、希望日が取れない状況である。何か規制できないものか。沖縄への修学旅行は入学前から決めている学校もあると聞いている。
 - ・ より探究活動や交流活動が深まるモデルプランを旅行会社に提示してほしい。
- 今年度の実施に当たり、旅行会社を平成31年1月に急遽変更することとなった。A社が当初の実施計画に、伊丹空港旅客施設使用料往復520円さらに那覇空港も同様の費用追加の負担となったため、A社と交渉したが、予定していた施設見学カットやバス乗務員カットなどの提案があった。この案に同意することができないため、やむなくB社へ旅行会社変更となった。
- ・ 旅行会社の添乗員は打ち合わせ時と同一で、学級に一人ずつが有難い。
 - ・ 清算の確認がとりにくかった。
 - ・ 旅行会社に対して、高速道路の工事状況をもっと早く詳細に連絡してほしい。
 - ・ 当日の旅行で添乗員のスキルで大きく左右される。費用が安価でも内容が良くても添乗員のスキルが良くない場合は、教員の負担が大きくなる。旅行会社の選定の際、重視する点である。
 - ・ アクティビティの当日キャンセル等の対応が体験業者と旅行会社の説明に違う部分があった。体験業者の説明をもとに保護者に対応していたが、最終的な判断は旅行会社の説明で通しました。事前に教えておいてほしかったです。
 - ・ 旅行会社の担当者が直前に変更になったことや、教職員との意思疎通を欠いたことが問題である。

- ・ 旅行会社への要望:添乗員の増員
- ・ 旅行会社の費用積立の申込方法がネット経由のみしか認めない会社があり、紙面での申込も受けてくれないか頼んだが断られた。もっと柔軟な対応をお願いしたい。
- ・ 旅行会社と現地のバス会社との間の打ち合わせが不十分であったため、本番で日程変更やプログラム変更があった。旅行会社の方には事前の準備、現地との打ち合わせをきっちりやってほしい。
- ・ 年々、旅行会社の質が低下している。現地の事、行程、注意点等専門性が感じられない。
- ・ 旅行費用の徴収にかかわる業務を旅行会社で担ってほしい。
- ・ 旅行費用を徴収している場合、急なキャンセル時には残金の返済までしてほしい。
旅行会社から提示されたコースが移動ばかり長く、時間のゆとりがない無理のあるコース設定で、時間が押すばかりで満足いくような修学旅行とならなかったことが残念。また、旅行会社の不手際でガマの講話の時間の予約ができていないことが4月に発覚し4月下旬になってコース変更を余儀なくされて不満と不信感がふくらんだ。また、行程のところどころで旅行会社や宿舎の対応に不親切さを感じました。
- ・ 旅行代金の返金について、直接口座に返金してもらいたかった
旅行日程や宿泊先の企画は全て学校で行っている。旅行会社の企画料の算出方法が費用全額からの算出になっているため、今回体験活動費の違いから生徒一人ひとりが支払う企画料が違っていた。体験活動費の違いで企画料が違うというのはおかしいと考える。企画料そのものの値段が不透明過ぎる。
- ・ 企画料の減額を要望します
- ・ 旅行会社の担当者が修学旅行直前に定年退職し、代わりの担当者の方が経験が浅いため、様々な対応に時間を要し、出発に向けた準備が大変厳しかった。定年退職は事前に分かっていることだと思うので、引継ぎやフォローなどがほしかった。
- ・ 宿泊費用が高騰しており、保護者負担が過重となっています。パック旅行の方が安いので検討する余地もあります。
- ・ 添乗員さんが非常によくやってくれた
- ・ 班別自主学習がメインの2日目に天気が悪く、各班とも予定通り行動することができなかったので、東京近郊で2泊してしっかり班別行動させるのも良いかと思った。旅行会社の担当者が若く、費用の見積もりがいい加減で対応もとても遅かった。
- ・ 旅行会社の担当者が2回変った。修学旅行の当日まで一貫して同じ担当者が関わってほしい
- ・ 修学旅行費用を低くしてほしい。また、自然災害等に対する安全の確保を重視してほしい。(旅行会社への要望)
- ・ 旅行会社との打ち合わせが放課後になるため、なかなか日程が合わず大変であった。旅行会社も複数の学校を担当しているため、質問の回答などに時間がかかった。教員、旅行会社とも余裕がなかったように思う。
- ・ 旅行会社の企画料が高いと感じる
- ・ 旅行会社の旅行費用の計算等に何度も誤りがあり、本校旅行担当者の負担が大きかった。また、要望、意見、質問に対する回答が約束の期日、時間を過ぎることが多く、生徒に対する指導計画に遅れが生じた。誠意が感じられなかった。
- ・ 旅行会社への要望です。小規模校で1学級が40人以下の学校が、新幹線などで2つの車両に分かれて乗車しなければならないことが気になります。できる限り1つの車両で乗車できるよう努力していただきたい。

⑤危機管理、安全対策に関して

- ・ 安い金額でスマホが活用できると、事前学習の時間に余裕ができる。
- ・ 生徒の安全確保の点で情報端末はとても役立った。ホテルで生徒の集まりの為に使用すると別料金が発生したり、空きが無かったりする。バス代が高いので、学級ごとではなく、人数を定員まで乗せ、バス代を減らす工夫をした。
- ・ 修学旅行の受け入れが比較的新しい地域で、誠実に対応していただいた印象が強かった。一方で選択体験学習では、受け入れ人数が少ないところや安全対策が十分でなかったところ(自転車ツアーコース)が見られた。
- ・ 自然災害が気になるが、どうしようもない。
- ・ 南海トラフ地震等が懸念される中で安全第一を優先に考えている
- ・ 重篤なアレルギー対応の為、看護師を配置した
- ・ iPhoneを持たせたが、旅行会社を通してはまだ完全なアプリとして完成していないのか、使い勝手がよくなかった。GPSと通話だけであればガラケーでよかった。準備の時期に旅行会社との連絡がなかなか取れず苦労した。
- ・ 食物アレルギー対応が以前より不十分になってきている。民泊先の決定が遅いので、食物アレルギー、動物アレルギーの対応が大変不安である。
- ・ 食物アレルギーに対して旅行会社のきめ細やかな対応に感謝している。グループ別行動中の安全確認のため情報端末をレンタルしようとしたが、費用面で断念した。旅行会社が確保して貸し出しをしていただけるとありがたい。
- ・ このアンケート結果から必ず加入しておいた方が良い保険内容等提示頂けたら幸いです。

- ・ 生徒のアレルギー対策については毎年頭が痛い。学年団や旅行会社とも大事な事案として扱っている。いい取り組みがあれば紹介してほしい。また保険についてもいいものがあれば教えてほしい。
- ・ レンタルスマートフォンの利用(電車の発着時刻や地図の確認に)
- ・ 民泊体験時、体験中の生徒の様子が把握できずにトラブルが一件は発生し、その際生徒から教員へ連絡できる手段か、全泊先に教員が訪問しておく必要があると感じた。
- ・ 次年度はオリンピックイヤーでもあり、心配している。安全面に対する対策配慮を十分お願いしたい。
- ・ 都内で班別行動中に、生徒が原宿で募金詐欺や買い物で不当な額を要求された事案があった。これらの対応について、生徒の身の安全を含め活動規制、対策など検討していきたい
- ・ 食事場所では食物アレルギー対応をしてもらえるところを最初から紹介してもらいたい。
- ・ 災害時の適切な対応
- ・ 雨対策の不足が懸念される。

⑥修学旅行全般

- ・ ここ数年沖縄への修学旅行を実施しているが、経費がかかるため変更せざるをえない。大規模校であるため、食物アレルギー等生徒個々の状況に対応しなければいけない事例が多く、準備にさく時間は大きな課題となっている。
- ・ 生徒数が多いので、新幹線の乗車など移動が大変である。
- ・ 修学旅行を働き方改革の観点から改善できないか
- ・ 判別自主研修は事前の行程調べや事後のポスターセッションで1, 2年生次の校外学習の成果が見られた。
- ・ 物見遊山を基本とする内容から、探求につながる内容へと変更する。(生徒数が多いが、より教育課程を充実させる)
- ・ 東日本大震災について学習を深めるためにも関西から東北方面への修学旅行は意味あるものと思われるので、是非、旅費等での公的支援があると継続しやすい。民泊において生徒情報(アレルギー等)が上手いかされてないことがあった。
- ・ 平和人権学習を主な目的として修学旅行の行き先としている。市内の小学校が広島への修学旅行なので、今後も長崎を中心とした修学旅行を継続したい。
- ・ 本校としては、沖縄に行き先を変更しての初めての修学旅行であった。直前に旅行会社の担当者の変更などはあったが、その後、十分に対応してもらえ、スムーズに行程を終えることが出来た。民泊の滞在時間が短く、生徒の感想やニーズを考えると、もう少し長くても良かったかなと感じた。
*本市は、50,000円程度という修学旅行費の枠があるが、他の市町村ではどのようになっているのか参考にしたい。保護者負担のことを考えると安易に増額はできないが、消費税増のことや見学先、体験の実を考えると増額もやむを得ない面があるのではないか。
*本市の規定以上の引率教員数を認めてはもらっているが、出張旅費との関係で、学年所属の教員の不参加、養護教諭の不参加にせざるを得ない状況がある。
- ・ 今年度、修学旅行が全般無事に済んだ。旅行費用は、交通手段・宿泊・見学場所等の条件によって変わってくると思いますが、中学校2泊3日の相場はどのくらいか知りたい。
- ・ 浦安市のホテルを基準としたが、都内へのアクセスが交通渋滞にあって厳しいので改善したい。
- ・ 従来信州方面で実施してきたが、中・四国にして、往復の移動時間が短くなり、自然体験プログラムが多くできた。生徒にとって良かった点である。
- ・ 新幹線の乗車時刻の選択肢をもう少し多くし、京都駅からの「のぞみ号」対応をしてほしい。
盛りだくさんの取り組みを実施したのにもかかわらず、費用が50,000円を切ったのは、企業努力とバスを使用したからだと思う。
- ・ 民泊を実施しないのは、久しぶりであったが、ペンションを利用し、学級ごとにのんびり過ごすことができ、これも悪くない、と再認識した。
修学旅行に関わって、学校経営管理センターは、柔軟に対応してほしい。これまで1年生から取り組んできた平和学習の一環として、沖縄県への旅行を行ってきた。生徒の旅費等も交通費のことを考慮して、宿泊費等を低価格に抑え、総額約5万円を実施してきた。しかし、教員の旅費が多く必要であることから認められない状況が有ります。教育センターへの教員の出張費は、センター近隣の学校と比較して高くなります。年度初めの配当旅費は、学校の設置場所に関係なく同規模の学校の場合、同額になると聞いています。学校の取組みへの配慮をしていただければ助かります。
- ・ 価格や消費税の上昇に合わせて、旅行金額の上限をあげてほしい。
- ・ 本校では『泊行事検討委員会』を適宜実施し、4年ごとに方面の見直しを行っています。本区の地域性もあり平和学習をより推進していくため、来年度までは広島方面への修学旅行を実施いたします。再来年度以降については、平和学習もある程度定着したので台風や地震の影響を受けにくい信州方面へ変更する予定です。
- ・ 今まで続けていたオキナワ戦争体験者の語り部も、高齢化が進み平和学習の内容を変えていかなければならない。
- ・ 民泊先で堺市のプレゼンをして、お茶をたてて民泊の方にふるまった
- ・ バスでの移動時間が長く、信州への修学旅行は本年度が最後となる。単に体験活動のみの修学旅行ではなく平和学習の集大成としての修学旅行の目的地を選択しているが、どうしても限られてしまう。

- ・企画段階では1日目の夜に平和学習の講座を予定していたが、運営会社が手を引いたためプログラム変更があって残念であった。
- ・旅行費用の値上がり、消費税が上がることで保護者負担も増える。今でも小規模校ゆえ、一人当たりの単価が高いので、どこからか補助があればありがたい。
- ・JR集約列車の乗降駅について一考願いたい。西明石駅に集約列車が停車しないため、姫路乗り換えとなるので
- ・集約列車は非常にありがたいが、日にちの決定に時間がかかるため希望のホテルなどが押さえられることがよくある。
- ・修学旅行団に加わらない方式で今年度実施したが、時間的制約が少なく非常に料金も安くできたことがよかった。旅行団に属さないことで入札等手間はかかるが、自分で納得できる旅行会社、担当者を選べて大きい。
- ・修学旅行そのものを考える時がきているかもしれません。
- ・旅行費用ができるだけ減額する方向で検討が必要である。

⑦その他

- ・集合時間に一部生徒が遅れ、そのため貸し切りバスを予定時間を超えて停車させることとなり、追加料金を発生したこと。
- ・車いす利用の生徒がいる場合の配慮点など事前の教員の研修がさらに必要だった。
- ・地方の生徒なので、空港や要所での案内的確にしてほしい。
- ・現地で複数の生徒の体調が良くなく、養護教諭が忙しく、養護教諭の他に看護師の必要性を感じた。
- ・今年度変更の初年であったがトラブルやアクシデントもなく実施できた。国の学力学習状況調査の突然の変更で、当日受けることができなかった。どうすることもできなかった。
- ・教職員の体制が不十分で現地で戸惑うことが多く、事前の打ち合わせや数年前までの実施状況に対する総括が必要であった。
- ・旅行日程と部活動の夏季大会が重なり大変困惑した。6月上旬に夏季大会を行うというのは一考してもらいたい
- ・本校は昼間部(不登校特例校)と夜間部(二部学級)を併設する学校で、修学旅行は1泊2日で、バス2~3時間程度の場所へ毎年全員で参加しております。そのため、方面等の選定は実施年度に決定しており、今年度は方面は決定しておりますが、細部については検討中で、詳細な費用も今後決定していく予定です。未記入の箇所もありますが、ご了承ください。
- ・まだ実施していないので、今回の調査も予定や未定で回答しました。
- ・多くの皆様のお蔭で、いい修学旅行になりました。
- ・九州地区での修学旅行で震災学習・平和学習と中身の濃い内容であった。遠方の為旅費が高くなり、人数も少ないためバス代が高くなる。保護者の負担が大きいことが気がかりである。5月下旬で暑く、熱中症対策も講じなければならない。
- ・引率教職員の飲酒の問題を耳にしたが、勤務時間の割り振り変更は6時間までであり、理屈から言えば、それを超えた時間は勤務ではないということになり、飲酒を禁止するのであれば、引率している時間すべて(24時間)を勤務時間ととらえるようにした方がすっきりするのではないかと思う。
- ・スピーカーを本体に備えた少し太めのマイクが販売されている。USBで充電する方式だがバッテリーの持ちがよく、ラップ型の拡声器のようにかさばらず(筒状なので普通の鞆に入る)、音の指向性的にも周囲全体に広がる。3~6学級くらいの集団にちょうどよい製品で重宝した。校内でも学年集会などで使いやすい。
- ・本校(総合支援学校)では生徒が入院中であるため実施しない。参加希望があり参加できる状態であれば、原籍校の修学旅行に参加する。
- ・修学旅行で完結した、平和学習を文化祭につなげることができ、よい取組になったと思う。
- ・制約が多く活動内容づくりが難しい。
- ・航空機利用ができないなどの独自理由が市内にあるのはどうかと思う。
- ・小規模校の為、送迎バス、観光バスの一人当たりの費用が高くてしまう。
- ・民泊日程の都合で9月の実施となった。現地では小学生の修学旅行がピークだったので、他校トラブルお心配がなくスムーズに実施できた。
- ・市内の中学校と行程が全く同じであった。旅行会社の熱意・在り方に疑問を感じた。また行き先々で同一市内の中学校と出会う場面が多くあり、生徒指導上、非常に気を遣いました。もうそろそろ九州方面固定の団体専用列車を見直す時期なのではと強く感じ。
- ・今年度は5月の10連休のすぐ後の出発だったため事前指導の日程に配慮した。
- ・下見、前年度の反省、打ち合わせ等かなり時間を要し計画したが、それでもじゅうぶんでないところがあり、今後の参考にしたい。
- ・新幹線へ乗り継ぐまでの、JR在来線の乗車時間の短縮
- ・集約列車で東京まで「のぞみ号」にしてほしい
- ・欠席者が出たことで、見積もりよりも生徒一人当たりの負担額が増えたことが想定外でした。
- ・生徒が自分で行き先を調べて、班別行動を実施しましたが、生徒に好評でした。
- ・帰校までに高速道路工事があり、空港から学校まで時間が大幅にかかったのが誤算であった。

- ・ 沖縄修学旅行は内容が充実するので、生徒保護者にも好評である。航空機費用、宿泊費用など何とか費用を安くなるようお願いしたい。
- ・ 少人数での実施の為、一人当たりの費用が高く(バス代)になってしまう。
- ・ 2学期に全校集会で修学旅行報告会を開いています。
- ・ 保護者から生徒に宛てた手紙を一日目の夜にホテルで渡し、それを読んだ生徒が家族への感謝の気持ちで手紙を書き、沖縄から手紙を送る。(この企画は生徒には事前に知らせない)
- ・ 新幹線での座席が一般客と混同になるのを少なくなるように配慮してほしい。
- ・ 全て電車での移動であったが、それ自体よい経験であった。
- ・ 内容は充実してよかったが、ホテルへの到着時間を早い目にした方が疲れも少なくすむように感じた。
- ・ 以前から土日避けて東京連泊の修学旅行が多かったが、本年度は2泊目を浦安市にした。このホテルはなかなか良かった。土日は都内の道路も空いていた。
- ・ 日頃電車をあまり利用する機会がない生徒が多いので、班別行動しながら自分たちで都会の交通機関を利用したり、また、伝統工芸品づくりを体験することはとても貴重な体験だった。
- ・ 平和学習が定着しており、保護者生徒の関心も高い。
- ・ 温暖化の影響で春スキーは減ってきているが、到達型スポーツであるスキーはやはり達成感を味わえる生徒がとて多く、改めてスキーの良さを感じた。
- ・ 教員の欠員ができたときは代替教員が配置されないことが考えられる。今年度の修学旅行の引率教員は16名の予定が14名となった。こんな時の補償は教委の責任であるが、何とかできないものか。
- ・ 集約列車の決定で土日避けてほしい。一般客が多すぎて移動に支障をきたす。
- ・ クラスミーティングはどのクラスも意義あるものとなった
- ・ 小規模校なので宿舎の単独占有は難しいが、若干の一般客との同泊であった。しかし可能なら単独宿泊が有難い。
- ・ 貸し切りバス代の高騰で困っている。宿舎と除去食にかかる事前の連絡が煩雑である。そして、事前連絡の通りに準備されていないことがあり、直前に気づき混乱したことがある。
- ・ 不登校とは言え、欠席の生徒が163名中、6名もいた。中学校も希望選択制で良いのではないかと考える。
- ・ 遠方の為、生徒の班別自由行動の時間が十分に確保できなかったこと。

2019(平成 31・令和元)年度
近畿地区公立中学校修学旅行実施状況調査
2020(令和 2)年 1 月

発行 近畿地区公立中学校修学旅行委員会

事務局 公益財団法人 全国修学旅行研究協会 大阪事務局

〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-38 近鉄新難波ビル5F

TEL 06-6636-0885 FAX 06-6636-0890

E-mail shuryosa@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://shugakuryoko.com>

☆無断転用禁止 転用の場合は当事務局までご連絡ください